

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190566011001	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部の中学校専攻と特別支援専攻と幼稚園専攻		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kazuikeya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部本館 6 0 9 研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日の4校時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標 / Course goals	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けさせること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	教科書の該当部分を事前に予習した上で、それに関連した事柄について情報収集(テレビや新聞を見る、家族や友人と話をするなど)をしておくこと。		
キーワード / Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書 / Materials	・教科書: 芦部信喜『憲法第七版』岩波書店 ・六法(出版社は問わない)も持参すること		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	4/5以上の出席が必須		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	自らの日常生活に則して憲法を考えるように心がけておけば、レポートが書きやすくなります。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

<p>実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course</p>	<p>田中 透子/家庭裁判所 書記官としての実務経験を有している/日本国憲法の学術的な内容について14回にわたって講義をした後、審判が非公開である家庭裁判所の職員の方2名(家裁の書記官と調査官)に、家庭裁判所は実際にはどのような業務を行っているのかを具体的な事例を通して、日本国憲法の学術的な内容(特に司法権、人権等の部分について)をより日常生活に近づけて理解させることを目的する。/ 橋本 美咲/家庭裁判所 調査官としての実務経験を有している/日本国憲法の学術的な内容について14回にわたって講義をした後、審判が非公開である家庭裁判所の職員の方2名(家裁の書記官と調査官)に、家庭裁判所は実際にはどのような業務を行っているのかを具体的な事例を通して、日本国憲法の学術的な内容(特に司法権、人権等の部分について)をより日常生活に近づけて理解させることを目的する。/</p>
--	--

授業計画詳細 / Course Schedule

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	憲法の基礎
第3回	国民主権と天皇制
第4回	平和主義
第5回	基本的人権の基礎
第6回	包括的基本権と法の下での平等
第7回	精神的自由権(1)
第8回	精神的自由権(2)
第9回	経済的自由権
第10回	人身の自由・国務請求権・参政権
第11回	社会権
第12回	国会
第13回	内閣
第14回	裁判所
第15回	家庭裁判所

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190566011002	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	井田 洋子 / Ida Yoko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館1F第11講義室 / Room 11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	smile_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	経済学部 本館506		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日授業後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	国の根本規範としての憲法の存在意義ならびに基本原理(普遍的価値とされる基本的人権の尊重・国民主権・権力分立・違憲立法審査制と、日本独自の価値である象徴天皇制と絶対的戦争放棄)を、歴史的、比較法的視点を踏まえ、具体的事例を参考にしながら考察する。		
授業到達目標 / Course goals	受講生が、?@憲法の基本概念を理解すること、?A主権者としての自覚をもち、憲法をめぐる問題を自身の問題として捉え、考えるようになること、?B日本社会だけでなく国際社会の問題に目をむけるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	(レポート2回、各25点×2) + 定期試験50点 = 100点		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	立憲主義、民主主義、国民主権、基本的人権、個人の尊重、		
教科書・教材・参考書 / Materials	【テキスト】日本語：大隈義和・大江正昭『憲法学へのいざない第3版』青林書院 英語：特になし 【参考文献】 前半・後半共通『ポケット六法』有斐閣等、いずれかの六法書 後半『世界憲法集』岩波書店		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビ等で日々のニュースに触れ、国内外の状況に通じていることが、この授業を理解する上で有益である。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y / N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	憲法とはなにか 基本概念の把握—国家、民主主義、立憲主義、法治国家等
第2回	憲法制定過程と2つの天皇制
第3回	国民主権と選挙制度
第4回	法の下での平等
第5回	信教の自由と政教分離
第6回	表現の自由 1
第7回	表現の自由 2
第8回	人身の自由
第9回	社会権
第10回	外国人の人権
第11回	国家権力の構造?立法権と行政権の関係
第12回	司法権
第13回	憲法9条と戦争放棄 1
第14回	憲法9条と戦争放棄 2
第15回	憲法改正問題
第16回	試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190566011003	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部の学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazuikeya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館609研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日の4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標/Course goals	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けさせること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	教科書の該当部分を事前に予習した上で、それに関連した事柄について情報収集(テレビや新聞を見る、家族や友人と話をする等)をしておくこと。		
キーワード / Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書 / Materials	・教科書: 芦部信喜『憲法第七版』岩波書店 ・六法(出版社は問わない)も持参すること		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	授業は2コマ連続で行われます。 初日(第1回と第2回)の講義を受講していない学生は、単位は取れません。 その上で、4/5以上の出席が必須		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	自らの日常生活に則して憲法を考えるように心がけておけば、レポートが書きやすくなります。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	田中 透子/家庭裁判所 書記官としての実務経験を有している/日本国憲法の学術的な内容について 14回にわたって講義をした後、審判が非公開である家庭裁判所の職員の方2名(家裁の書記官と調 査官)に、家庭裁判所は実際にはどのような業務を行っているのかを具体的な事例を通して、日本 国憲法の学術的な内容(特に司法権、人権等の部分について)をより日常生活に近づけて理解させ ることを目的する。/ 橋本 美咲/家庭裁判所 調査官としての実務経験を有している/日本国憲法の学術的な内容について 14回にわたって講義をした後、審判が非公開である家庭裁判所の職員の方2名(家裁の書記官と調 査官)に、家庭裁判所は実際にはどのような業務を行っているのかを具体的な事例を通して、日本 国憲法の学術的な内容(特に司法権、人権等の部分について)をより日常生活に近づけて理解させ ることを目的する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	憲法の基礎
第3回	国民主権と天皇制
第4回	平和主義
第5回	基本的人権の基礎
第6回	包括的基本権と法の下での平等
第7回	精神的自由権(1)
第8回	精神的自由権(2)
第9回	経済的自由権
第10回	人身の自由・国務請求権・参政権
第11回	社会権
第12回	国会
第13回	内閣
第14回	裁判所
第15回	家庭裁判所

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190566011004	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nishitsu.nu@gmail.com (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら憲法を学ぶ		
授業到達目標 / Course goals	憲法が何を定めているのか、自分とどのような関わりがあるのかを理解できるようになる。また憲法にかかわる諸問題について論説できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 (70%) と小テスト (30%) による		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	憲法の条文を読むこと。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html		
キーワード / Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書: 伊藤正己『憲法入門 (第4版補訂版)』有斐閣双書 参考書: 野中俊彦ほか『憲法判例集 (第11版)』有斐閣新書 その他: 条文は毎回持参すること。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識を関連づけるよう心がけてください。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	法とは何か、憲法とその他の法律
第 2 回	日本国憲法の沿革
第 3 回	国民主権 1
第 4 回	国民主権 2
第 5 回	平和国家
第 6 回	基本的人権 1 (総論)
第 7 回	基本的人権 2 (法の下での平等)
第 8 回	小テスト
第 9 回	基本的人権 3 (自由権 1)
第 10 回	基本的人権 4 (自由権 2)
第 11 回	基本的人権 5 (社会権)
第 12 回	基本的人権 6 (新しい人権)
第 13 回	三権分立 1
第 14 回	三権分立 2
第 15 回	憲法の保障・国法の形式
第 16 回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/07/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190566011005	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら憲法を学ぶ		
授業到達目標/Course goals	憲法が何を定めているのか、自分とどのような関わりがあるのかを理解できるようになる。また憲法にかかわる諸問題について論説できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 (70%) と小テスト (30%) による		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	憲法の条文を読むこと。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：伊藤正己『憲法入門(第4版補訂版)』有斐閣双書 参考書：野中俊彦ほか『憲法判例集(第11版)』有斐閣新書 その他：条文は毎回持参すること。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識を関連づけるよう心がけてください。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	法とは何か、憲法とその他の法律
第 2 回	日本国憲法の沿革
第 3 回	国民主権 1
第 4 回	国民主権 2
第 5 回	平和国家
第 6 回	基本的人権 1 (総論)
第 7 回	基本的人権 2 (法の下での平等)
第 8 回	小テスト
第 9 回	基本的人権 3 (自由権 1)
第 10 回	基本的人権 4 (自由権 2)
第 11 回	基本的人権 5 (社会権)
第 12 回	基本的人権 6 (新しい人権)
第 13 回	三権分立 1
第 14 回	三権分立 2
第 15 回	憲法の保障・国法の形式
第 16 回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/01/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190566011006	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら憲法を学ぶ		
授業到達目標/Course goals	憲法が何を定めているのか、自分とどのような関わりがあるのかを理解できるようになる。また憲法にかかわる諸問題について論説できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 (70%) と小テスト (30%) による		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	憲法の条文を読むこと。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：伊藤正己『憲法入門（第4版補訂版）』有斐閣双書 参考書：野中俊彦ほか『憲法判例集（第11版）』有斐閣新書 その他：条文は毎回持参すること。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい 。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ /Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識を関連づけるよう心がけてください。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	法とは何か、憲法とその他の法律
第 2 回	日本国憲法の沿革
第 3 回	国民主権 1
第 4 回	国民主権 2
第 5 回	平和国家
第 6 回	基本的人権 1 (総論)
第 7 回	基本的人権 2 (法の下での平等)
第 8 回	小テスト
第 9 回	基本的人権 3 (自由権 1)
第 10 回	基本的人権 4 (自由権 2)
第 11 回	基本的人権 5 (社会権)
第 12 回	基本的人権 6 (新しい人権)
第 13 回	三権分立 1
第 14 回	三権分立 2
第 15 回	憲法の保障・国法の形式
第 16 回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190568003001	科目番号 / Course code	05680030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15011_003		
授業科目名 / Course title	物理学 / Physical Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
科目分類 / Course Category	自然科学科目, 自由選択科目, 自然科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	anyone		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymat nagasaki-u.ac.jp (change to when you send e-mail)		
担当教員研究室/Office	Engineering Building 2, E509		
担当教員TEL/Tel	095-819-2540		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Please inquire by e-mail.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Knowledge of physics is indispensable not only for understanding the nature, but also for living one's daily life. It is important to reason logically and express accurately in the social life. By learning physics, we can acquire logical thinking and expression with abstract concepts, and develop a clear sense of perspective. This course is a subject to acquire the minimum knowledge of physics necessary for science teachers.		
授業到達目標/Course goals	1. Understand that physics exists in this world with a really rich spread and is closely related to our personal circumstances. 2. Learn the ability to think things logically and critically, and solve specific concrete physical problems using basic mathematics.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Exercise & Report (30 points) and final examination (70 points). Pass mark: 60 points		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Prepare the lecture text before the lesson and to grasp the points that can not be understood beforehand. If you have any questions or problems you can not understand, ask questions in the class and settle as much as possible during class.		
キーワード/Keywords	mechanics, electromagnetism		
教科書・教材・参考書/Materials	Textbook: R. Abe, Essential Physics (Saiensu-sha, Co., Ltd. Publishers,2002) ISBN4-7819-1028-9		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	None		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	For details, see LACS.
学生へのメッセージ/Message for students	Perfect attendance is recommended.
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
April 10, 5h	mechanics(velocity, acceleration)
April 10, 6h	mechanics(equation of motion)
April 17, 5h	mechanics(work, potential energy, kinetic energy, energy conservation)
April 17, 6h	mechanics(momentum, angular momentum, circular motion)
April 24, 5h	mechanics(rigid body, moment of inertia)
April 24, 6h	mechanics(summary)
May 8, 5h	electromagnetism(current, Joule heat, resistance, electric circuit)
May 8, 6h	electromagnetism(charge, electric field, potential)
May 15, 5h	electromagnetism(Gauss's law)
May 15, 6h	electromagnetism(potential)
May 22, 5h	electromagnetism(dielectrics, capacitor, dipole moment)
May 22, 6h	electromagnetism(magnetic field, magnetic flux density, Ampere's law)
May 29, 5h	electromagnetism(electromagnetic induction, inductance)
May 29, 6h	electromagnetism(Maxwell's equations, electromagnetic wave)
June 5, 5h	electromagnetism(summary)
June 5, 6h	Final Exam

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190568003001	科目番号 / Course code	05680030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15011_003		
授業科目名 / Course title	物理科学 / Physical Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
科目分類 / Course Category	自然科学科目, 自由選択科目, 自然科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymat_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部 2号館E509		
担当教員TEL/Tel	095-819-2540		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールで受け付ける。 ymat_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	自然の成り立ちや振る舞いを理解するだけでなく、日常生活を送る中で物理学の知識は欠かせない。社会生活における状況の理解・判断においても、ものごとを論理的に考え、的確に表現することは非常に重要である。物理学を学ぶことにより、私たちは論理的な思考法や抽象的な概念を用いた表現法を身に付けていくことができ、物事の本質を見抜く目を養うことができる。本科目は理科教員として必要な物理の最低限の知識を身につけるための科目である。		
授業到達目標/Course goals	1. 物理学が実に豊かな広がりを持ってこの世界の中に存在し私たちの身の回りの事柄に深く関係していることを理解する。 2. 物事を論理的・批判的に考える能力を身につけ、基本的な数学を用いて個別の具体的な物理問題を解ける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	積極的参加状況と演習課題 (30点) および最終試験 (70点) の合計で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の授業の前に講義テキストを予習し、理解できない点を事前に把握しておくこと。疑問点や理解できない点があれば、授業の中で質問し、できるかぎり授業中に解決すること。		
キーワード/Keywords	力学、電磁気学		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: 阿部龍蔵著, Essential 物理学 (サイエンス社、新物理学ライブラリ別巻1) ISBN4-7819-1028-9 参考書: 大学教養レベルの物理テキストなら何でも良いので、授業と並行して複数冊を読むと良い。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	LACSを利用する。
学生へのメッセージ/Message for students	全回出席を原則とする。やむを得ず欠席する場合は事前に電子メールで担当教員に連絡すること。板書と演習を中心に授業を行うので、講義ノートをしっかり作ってください。内容を理解するコツは、とにかくたくさん書くことです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
April 10, 5h	力学(速度、加速度などを理解する)
April 10, 6h	力学(運動方程式などを理解する)
April 17, 5h	力学(仕事、ポテンシャル、エネルギーなどを理解する)
April 17, 6h	力学(運動量、角運動量などを理解する)
April 24, 5h	力学(剛体の運動、慣性モーメントなどを理解する)
April 24, 6h	力学(力学全体の総括)
May 8, 5h	電磁気学(電流、ジュール熱、抵抗、電気回路などを理解する)
May 8, 6h	電磁気学(電荷、電場、電気力などを理解する)
May 15, 5h	電磁気学(ガウスの法則を理解する)
May 15, 6h	電磁気学(電位などを理解する)
May 22, 5h	電磁気学(誘電体、キャパシタ、電気双極子などを理解する)
May 22, 6h	電磁気学(電流と磁場、磁束密度、アンペールの法則などを理解する)
May 29, 5h	電磁気学(電磁誘導、インダクタンスなどを理解する)
May 29, 6h	電磁気学(Maxwellの方程式の意味を理解し、電磁波の性質などを理解する)
June 5, 5h	電磁気学(電磁気学全体の総括)
June 5, 6h	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190569000701	科目番号 / Course code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Course title	解放講座 / On Social Leveling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Course Category	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	090-4586-8939		
担当教員オフィスアワー / Office hours	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	21世紀は人権の世紀といわれる。本講座は、人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、在日コリアン、セクシュアルマイノリティ等の人権問題と向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標 / Course goals	上記の人権問題について、?@知識として獲得する。?A他人に話す力をつける。?B解決のために何ができるのかを議論できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	中間レポート(30%) 授業時のふり返り(30%) 最終レポート(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	関連する書籍、新聞記事等目を通してください。		
キーワード / Keywords	知識・スキル・態度・行動		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業ごとの資料を配布します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ネット社会では、様々な情報が飛び交います。フェイクという言葉が注目されるように、情報を見極める力が必要とされます。人権問題については特に、正確な知識と判断する力が求められます。授業を通してこのような力を身に付けてほしいと思います。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	人権に関する意識調査 絵図を使った「人権」探し どんな人権問題を考え、関連する法律や条約を見つける。
2	今なぜ人権教育か? (講義とワークショップ)
3	部落問題と人権の今(1) (ビデオ視聴と講義)
4	部落問題と人権の今(2) (講義)
5	教科書から土農工商が消えた? (講義)
6	アイヌ問題と人権 (ビデオ視聴と講義)
7	アイヌ問題と人権 (2) (講義)
8	在日外国人と人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
9	在日外国人と人権 (2) (講義)
10	セクシュアルマイノリティと人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
11	セクシュアルマイノリティと人権 (2) レポートの交流
12	ハンセン病と人権 (1) (ビデオ視聴と講義)
13	ハンセン病と人権 (2) (講義)
14	人権問題の解決のためのプログラム
15	人権問題の解決のためのワークショップ

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190569000702	科目番号 / Course code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Course title	解放講座 / On Social Leveling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Course Category	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-4586-8939		
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	21世紀は人権の世紀といわれる。本講座は、人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、在日コリアン、セクシュアルマイノリティ等の人権問題と向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	上記の人権問題について、?A知識として獲得する。?B他人に話す力をつける。?C解決のために何ができるのかを議論できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	中間レポート(30%) 授業時のふり返り(30%) 最終レポート(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	関連する書籍、新聞記事等目を通してください。		
キーワード / Keywords	知識・スキル・態度・行動		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業ごとの資料を配布します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ネット社会では、様々な情報が飛び交います。フェイクという言葉が注目されるように、情報を見極める力が必要とされます。人権問題については特に、正確な知識と判断する力が求められます。授業を通してこのような力を身に付けてほしいと思います。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	人権に関する意識調査 絵図を使った「人権」探し どんな人権問題を考え、関連する法律や条約を見つける。
2	今なぜ人権教育か? (講義とワークショップ)
3	部落問題と人権の今(1) (ビデオ視聴と講義)
4	部落問題と人権の今(2) (講義)
5	教科書から土農工商が消えた? (講義)
6	アイヌ問題と人権 (ビデオ視聴と講義)
7	アイヌ問題と人権(2) (講義)
8	在日外国人と人権(1) (ビデオ視聴と講義)
9	在日外国人と人権(2) (講義)
10	セクシュアルマイノリティと人権(1) (ビデオ視聴と講義)
11	セクシュアルマイノリティと人権(2) レポートの交流
12	ハンセン病と人権(1) (ビデオ視聴と講義)
13	ハンセン病と人権(2) (講義)
14	人権問題の解決のためのプログラム
15	人権問題の解決のためのワークショップ

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190569001101	科目番号 / Course code	05690011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11611_001		
授業科目名 / Course title	全学乗船実習 / Training Cruise for General Students		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清水 健一 / Shimizu Kenichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	清水 健一 / Shimizu Kenichi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	清水 健一 / Shimizu Kenichi		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学部学生 (1年生から4年生)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kshimizu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	水産学部本館3階 (A-94)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2805		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木・金の午後3時以降		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	教養モジュール科目の「食の安全と持続的な海洋食料資源の利用?U(人から見た水産業)」で学んだ内容を、より身近な問題として実践的な視点で捉えるため、附属練習船長崎丸に乗船して航海を体験する。これらの体験により、海洋環境や海洋生態系、あるいはそれらと人間の営みを肌で感じ、より深く理解すると共に、異分野の学生が船内生活を通して、通常のキャンパスライフでは困難なコミュニケーション能力、多角的視点、協調性などを修養する。		
授業到達目標 / Course goals	海洋および船舶に慣れ、親しみ、航海・運用術、海洋観測の基礎的実習及び海・船・人間の関係について関わりを習得。また、船内での団体生活の体験により、協調性・寛容性を習得する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	実習への取り組み状況 70% レポート 30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前講義? 実習の目的・概要・船内注意事項・見学施設等についての 事前講義? 船、海洋観測、トロール操業等に関する基礎知識 事後講義 実習の総括、レポート課題等の説明等 () 事前・事後講義 (於 文教キャンパス) および実習の日程は、別途通知する。		
キーワード / Keywords	練習船・海洋実習・海洋観測		
教科書・教材・参考書 / Materials	事前ガイダンス、船内ガイダンスの際に資料を配付する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	・受講定員は40名 (希望多数の場合は、抽選により受講者を決定する) ・受講者は、必ず傷害保険に加入すること。 ・受講にかかる費用として食費 (4日分) および陸上関連施設利用料 計8,000円程度が別途必要		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	洋上での貴重な体験をできるのでぜひ積極的に参加して欲しい
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	清水 健一 / 附属練習船での航海士経験 / 航海計器の原理、使い方、保守など実船での経験や写真も含めて解説している。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	<p>実習 1 日目 乗船 船内ガイダンス (船内設備、注意事項等の説明) 海洋観測、トロール操業、非常配置表等の説明、日没後プランクトン採集</p> <p>2 日目 天候・海況により、(1)?(3) のいずれかを実施 (1) 海洋観測、トロール操業、漁獲物調査、ロープ結索練習 (於 東シナ海) (2) 海洋観測、ロープ結索演習、(於 操練が行える湾) (3) 海洋観測、船の位置測定練習、ロープ結索演習、(於 位置測定が行える湾)</p> <p>3 日目 入港、陸上水産施設 (水族館等) の見学 4 日目 陸上水産施設 (魚市場等) の見学、出港 魚類の加工 (干し物等の作成) 5 日目 下船時のガイダンス (予定、注意事項等の説明) 下船 () 天候・海況によっては、実習の内容を大きく変更することがある。</p>

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190569061401	科目番号 / Course code	05690614
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12661_002		
授業科目名 / Course title	オランダの文化 / Dutch Culture		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL/Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本と北ヨーロッパの中心国の一つとして発展してきたオランダとの交流が江戸初期に長崎から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、北ヨーロッパの歴史的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の修得と文化理解を目的とします。		
授業到達目標/Course goals	オランダ・北ヨーロッパの文化と歴史、または、日蘭交流についての基本的な知識を修得します。なお、講義の理解度に応じて、課題内容の順番などを変更することがあります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	成績評価の方法・基準等 成績評価は、定期試験、または、レポート70%、授業中の提出物30%で行います		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	オランダの歴史		
教科書・教材・参考書 / Materials	教材 : プリント教材 毎回配布します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	講義の内容をしっかりと聞き、渡された教材を予習・復習すれば、オランダや西欧の文化と歴史を広く、楽しく理解できるようになります。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	01. オランダの先史時代 02. ローマ時代 (紀元前57年 ? 紀元後500年) 03. 北ヨーロッパでのキリスト教の布教 04. カール大帝 (756 -814)
第2回	05. ヘッペン・オッタ・フォーゴラ 文語の発展 06. フロリス5世 (1254 -1296) とホラント伯 (オランダ) の発展 ・ 英仏100年戦争 ・ 黒死病 (ペスト) 07. ハンザ同盟の貿易 (1356年 - 1450年)
第3回	08. エラスムスと人文主義 (1469 -1536) 09. カール5世 (1500-1558) ・ブルゴーニュ公爵領ネーデルランデン ・カール5世 ハブスブルグ領ネーデルランデン 10. 聖画像・偶像破壊 11a. オラニエ公ウィレム1世 (1533-1584) ・ネーデルランデンの反乱の始まり (80年戦争) (1568-1648)
第4回	11b. オラニエ公ウィレム1世 (1533-1584) ・ネーデルランデンの反乱の始まり (80年戦争) (1568-1648) 12. 7ネーデルランデン共和国時代 (1588 -1795) 13. 15・16世紀の美術
第5回	14. オランダ 東インド会社 (1602 ? 1799) 15. 平戸と出島 ・1609年 平戸オランダ商館創立 ・1641年 出島への移動
第6回	16. デ・ベームステル干拓地 (1612) 17. アムステルダム運河 (1613 ? 1662) 18. 公定オランダ語訳聖書 (1637)
第7回	19b. 黄金時代の芸術 (1602 ? 1672) 20. アトラス・マイオル大地図帳 (1662) 21. 黄金時代の学者たち 22. Zeehelden van de Gouden Eeuw 黄金時代の海の英雄たち
第8回	23. 災厄の年 24. 奴隷制 (1637 -1863)
第9回	25. Buitenhuizen in de 17e en 18e Eeuw 17・18世紀の別荘 26. バタビア共和国・バタビア連邦時代 (1795 ? 1806) ・De Bataafse Republiek バタビア共和国の樹立 (1795 ? 1801) ・Het Bataafs Gemenebest バタビア連邦の樹立 (1801 -1806)
第10回	27. Napoleon Bonaparte en de Nederlanden ナポレオン・ボナパルテとネーデルランデン ・Koninkrijk Holland ホラント王国時代 (1806 - 1810) ・Onderdeel van het Franse Keizersrijk フランス第一帝国時代 (1810 - 1813) 28. ネーデルランデン連合公国・ネーデルランデン連合王国時代 (1813-1830/39) ・1813年 Soeverein Vorstendom der Verenigde Nederlanden ネーデルランデン連合公国の誕生 ・1815年 Verenigd Koninkrijk der Nederlanden ネーデルランデン連合王国の樹立 ・1830年 ベルギー独立宣言・独立戦争 ・1839年 ベルギー独立とネーデルランデン王国の誕生 (1830/1839) 29. Het Koninkrijk der Nederlanden ネーデルランデン王国 1839 ~)

第11回	<p>30. マクス・ハフェラーレ (1860)</p> <p>31. 児童労働</p> <p>32. アレッタ・ヤコブスと女性解放</p> <p>33. フィンセント・ファン・ゴッホ (1853 ? 1890)</p> <p>34. 第一次世界大戦 (1914 ? 1918)</p>
第12回	<p>35. デ・ステイル</p> <p>36. 1920?1930年代 (第一次と第二次世界大戦の間の期間)</p> <p>37a. 第二次世界大戦 オランダ</p>
第13回	<p>37b. 第二次世界大戦 オランダ領東インド</p> <p>38. オランダ領東インドの独立 (1945 ? 1949)</p> <p>39. 1975年 オランダ領スリナムの独立</p> <p>40. 旧 オランダ領アンティル諸島</p> <p>41. 1953年の大洪水とデルタ計画</p>
第14回	現在のオランダ?@ 政治・経済など
第15回	現在のオランダ?A 養育・福祉・行事・食事など

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190569061501	科目番号 / Course code	05690615
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12711_002		
授業科目名 / Course title	オランダの言語 / Dutch Language		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noboruy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL / Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	初級レベルのオランダ語入門講義です。授業には、視聴覚教材も使用し、より分かりやすく、より楽しくオランダ語を学習することで、オランダ文化への興味を喚起させることをねらいとしています。		
授業到達目標 / Course goals	初級レベルのオランダ語ができるようにします。資料に示された約600語のオランダ語を修得します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	教材 : プリント教材 毎回配布します。成績評価の方法・基準等 成績評価は、定期試験70%、授業中の発表と提出物30%で行います。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	オランダ語、オランダ語入門		
教科書・教材・参考書 / Materials	教材プリント配布 CD ROM 100円		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。CD ROMは必ず購入すること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	オランダ語という新しい言語を勉強する不安もあると思いますが、15回の講義でオランダ語の基本をしっかり、楽しく教えますので、是非挑戦してみてください。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Les 1 'Hallo, ik heet Ronald'
第2回	Les 2 'Wat is uw naam?'
第3回	Les 3 'Woon je hier al lang?'
第4回	Les 4 'Aangenaam kennis te maken'
第5回	1?4 復習
第6回	Les 5a 'Mijn familie' Les 5b 'Hoe laat is het?'
第7回	Les 6 'Wat doe je vandaag?'
第8回	Les 7 'Een week heeft zeven dagen'
第9回	Les 8 'Een afspraakje'
第10回	5?8 復習
第11回	Les 9 'In een restaurant'
第12回	Les 10 'Spreek je Nederlands?'
第13回	Les 11a 'De weg vragen' Les 11b 'De weg vragen'
第14回	Les 12 'Boodschappen'
第15回	9?12 復習 講義まとめ

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2019/04/01 ~ 2019/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588000401	科目番号 / Course code	05880004
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11161_006		
授業科目名 / Course title	教育方法・技術論 / Methodology and Techniques Of Education		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	wknhrtk nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	学習者の立場に立った教材開発のあり方、教材提示の方法、授業実践と教育方法などについて学習する。特に、コンピュータ等の教育メディアの利用、情報通信技術の利用について、最近の動向を踏まえた事例の紹介などを行う。また、実際に教育コンテンツを作成することで教育に必要な情報技術を修得し、ICT活用指導力を身につける。		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育工学的な視点から、授業を構成する要素を列挙でき、また、各要素の特徴を理論的な背景を踏まえて説明できる。(基礎的知識を身につける) 2. PCなどを活用して教材を作成することができる。(汎用可能な技能を身につける) 3. 教材分析や授業設計の手続きを説明できる。 4. 授業の設計、実施、評価、改善に慣れ親しむ。(他者とも協働し指導案を検討する) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	課題60%、期末試験40%の配分で評価し、総合点60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前にLACS上に資料を掲載するため、予め読んでくること		
キーワード / Keywords	授業設計、教材開発、ICT		
教科書・教材・参考書 / Materials	参考図書 教師のためのインストラクショナルデザイン・授業設計マニュアル 稲垣 忠・鈴木克明編著 (北大路書房) 学習者とともに取り組む授業改善?授業設計・教育の方法および技術・学習評価 松田稔樹 星野敦子 波多野和彦 著 (学文社)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
43596	「教育方法・技術論」の目標と概要、特に、この授業展開の中心となる「教育工学」に関しての解説を行う。 また、生徒に求められる資質・能力を育成するための教育方法の在り方（主体的・対話的で深い学びの実現など）、教育方法の基礎的理論と実践を理解する。
43603	基礎的な学習指導理論を踏まえて、目標・内容、教材・教具、授業展開、学習形態（アクティブラーニング技法・協同学習の方法）、評価規準等の視点を含めた学習指導案を作成するため授業構想の検討、教材研究の方法について理解する。
43666	評価の方法、評価計画の立案（評価の観点と基準）について理解する
43673	生徒たちの興味・関心を高めたり課題を明確につかませたり学習内容を的確にまとめさせたりするために、ICTを利用した教育の方法、その活用のための情報モラル、デジタル教材作成法について学び、デジタル教材作成の実践（グループワークを含む）に取り組む
43680	授業指導、評価、改善について、グループワークを通し、全体をふりかえる。

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0, 0.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588000701	科目番号 / Course code	05880007
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11211_006		
授業科目名 / Course title	生徒・進路指導論 / Academic and Career Guidance		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池田 浩 / Ikeda Ko, 小原 達朗 / Obara Taturou, 野中 光治 / Nonaka Koji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池田 浩 / Ikeda Ko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池田 浩 / Ikeda Ko, 小原 達朗 / Obara Taturou, 野中 光治 / Nonaka Koji		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 教職に関する科目, 査定外		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教職希望の工学・多文化社会・経済・環境科学・水産の各学部1?4年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kouikeda nagasaki-u.ac.jp(池田) k-nonaka nagasaki-u.ac.jp(野中) labo nagasaki-u.ac.jp(小原)		
担当教員研究室/Office	教育学部5階527号室(池田)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2234		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメール対応(随時) kouikeda nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じて行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身につける。進路指導は、児童及び生徒が自ら、将来の進路を選択・計画し、その後の生活によりよく適応し、能力を伸長するように、教育が組織的・継続的に指導・援助する過程であり、長期的展望に立った人間形成を目指す教育活動である。それを包含するキャリア教育は、学校で学ぶことと社会の接点を意識し、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことを目的としている。進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的な体制に必要な知識や素養を身に付ける。		

<p>授業到達目標/Course goals</p>	<p>生徒指導の理論及び方法 (1)生徒指導の意義と原理 1)教育課程における生徒指導の位置付けを理解している。 2)各教科・道徳教育・総合的な学習の時間・特別活動における生徒指導の意義や重要性を理解している。 3)集団指導・個別指導の方法原理を理解している。 4)生徒指導体制と教育相談体制そぞ家の基礎的な考え方と違いを理解している。 (2)児童生徒及び生徒全体への指導 1)学級担任、教科担任その他の校務分掌得上の立場や役割並びに学校の指導方針及び学年指導計画に基づいた組織的な取組の重要性を理解している。 2)基礎的な生活習慣の確立や規範意識の醸成等の日々の生徒指導の在り方を理解している。 3)児童及び生徒の自己の存在感が育まれるような場や機会の設定の在り方を例示することができる。 (3)個別の課題を抱える個々の児童及び生徒への指導 1)校則・懲戒・体罰等の生徒指導に関する主な法令の内容を理解している。 2)暴力行為・いじめ・不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を理解している。 3)インターネットや性に関する課題、児童虐待への対応等の今日的な生徒指導上の課題や、専門家や関係機関との連携の在り方を例示することができる。</p> <p>進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 (1)進路指導・キャリア教育の意義及び理論 1)教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付けを理解している。 2)学校の教育活動全体を通じたキャリア教育の視点と指導の在り方を例示することができる。 3)進路指導・キャリア教育における組織的な指導体制及び家庭や関係機関との連携の在り方を理解している。 (2)ガイダンスとしての指導 1)職業に関する体験活動を核とし、キャリア教育の視点を持ったカリキュラムマネジメントの意義を理解している。 2)主に全体指導を行うガイダンスの機能を生かした進路指導・キャリア教育の意義や留意点を理解している。 (3)カウンセリングとしての指導 1)生涯を通じたキャリア形成の視点に立った自己評価の意義を理解し、ポートフォリオの活用の在り方を例示することができる。 2)キャリア・カウンセリングの基礎的な考え方と実践方法を説明することができる。</p>
<p>知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)</p>	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>
<p>学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking</p>	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers</p>
<p>成績評価の方法・基準等/Method of evaluation</p>	<p>演習成果資料・レポート(70%) 授業及び協議への参画態度(30%)</p>
<p>各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson</p>	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>
<p>事前、事後学習の内容/Preparation & Review</p>	<p>担当教員によって指示</p>
<p>キーワード/Keywords</p>	<p>実践的生徒指導力 児童生徒理解 キャリア教育</p>
<p>教科書・教材・参考書/Materials</p>	<p>生徒指導提要(文部科学省)、その他配布資料</p>
<p>受講要件（履修条件）/Prerequisites</p>	<p></p>
<p>アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)</p>	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>
<p>備考（URL）/Remarks（URL）</p>	<p></p>
<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p></p>
<p>実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）</p>	<p>Y</p>

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		池田浩 / 高等学校教諭としての経験を有している。
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回 6月16日(日)	生徒指導の意義と原理(野中)	A B C
第2回 6月16日(日)	生徒指導と教育課程(野中)	A B C
第3回 6月16日(日)	生徒指導の方法と技術(野中)	A B C
第4回 6月16日(日)	部活動の意義とその在り方(野中)	A B C
第5回 6月22日(土)	問題行動と生徒の心理(小原)	A B
第6回 6月22日(土)	生徒指導の実際(全体指導と個別の課題を抱える生徒の指導)(小原)	A B
第7回 6月22日(土)	生指導の実際(演習:事例研究)(野中)	A B C
第8回 6月22日(土)	生指導の実際(演習:事例研究)(野中)	A B C
第9回 6月29日(土)	生徒指導と法(野中)	A B C
第10回 6月29日(土)	家庭・地域・関係機関との連携(野中)	A B C
第11回 6月29日(土)	進路指導・キャリア教育の理念と意義((池田)	A B
第12回 6月29日(土)	進路指導・キャリア教育と教育課程(池田)	A B
第13回 6月30日(日)	進路指導・キャリア教育の指導の在り方(池田)	A B
第14回 6月30日(日)	進路指導・キャリア教育上の課題と指導の実際(池田)	A B
第15回 6月30日(日)	キャリア教育上の課題と指導の実際(指導案作成)(池田)	A B C

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588005301	科目番号 / Course code	05880053
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12261_002		
授業科目名 / Course title	芸術と文化 / Arts and Culture		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	主対象、1年~4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	horiuchi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部音楽棟 2階 2		
担当教員TEL/Tel	095 \ 819-2343		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 6時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎の芸術文化活動の実態を概観し、実際に文化施設に出かけ、芸術鑑賞を行う。		
授業到達目標/Course goals	音楽文化を取り巻く状況が理解でき、実際の演奏会を鑑賞し、生の演奏に触れる喜びを感じ取ることが出来る。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	推薦する文化イベントから2つを選択し、自分の意見を交えた芸術体験レポートを提出。レポート による評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	音楽文化、文化ホール、自主文化事業、音楽祭		
教科書・教材・参考書/Materials	その都度指示します		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	心を静めて熱心に芸術鑑賞ができること		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	外部講師の先生方のご都合により、授業内容が変更になる場合があります。授業開始時に、スケジ ュールを示します。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	この授業の進め方、ガイダンス
第2回	「長崎の文化活動について」
第3回	「長崎の文化とマスメディア報道について」 ゲストスピーカー 河野英雄前ブリックホール館長を迎えて
第4回	「文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」
第5回	「音楽文化活動としての自主文化公演」
第6回	「舞台芸術の鑑賞について」
第7回	「文化イベント・コンサートのつくり方」
第8回	「文化施設に出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」
第9回	「美術と音楽」ゲストスピーカー、米田館長をお迎えして
第10回	「美術と音楽、そして芸術」
第11回	「音楽芸術に親しむ方法」
第12回	「季節をめぐるの音楽」
第13回	「文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」
第14回	「長崎の音楽活動、その行方」
第15回	「人生の友としての舞台芸術」
第16回	(予備)

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190588005701	科目番号 / Course code	05880057
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 22319_032		
授業科目名 / Course title	上級外国語(フランス語) / Advanced French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00~12:50 水曜日 12:00~12:50 木曜日 10:30~12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	フランス語のコミュニケーションの実践力をさらに身につけるための授業です。 自分自身の言葉で明確に考えを表現し、ヨーロッパ共通言語参照枠のA2レベルに相当する授業と なります。		
授業到達目標/Course goals	CALL教室やIpadを使用して、復習をしながら、さらに完璧な会話力を身につけることを目標としま す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	発表50%、課題25%、授業態度25%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	上級フランス語		
教科書・教材・参考書/Materials	コピーを渡します。		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	皆さんの興味・関心があることを教えてください。それらを取り入れながら授業していきます。時間割では水曜の6限になっていますが、受講希望者の意見を聞いて、時間割を変えます。受講希望者で水曜の6限に来れない場合は、eohashi nagasaki-u.ac.jp に受講可能な曜日と時間をメールしてください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	Ipadを使って、発音を調べよう。	A B C D
第2回	Dragon dictationを使用して、発音を練習してみよう。	A B C D
第3回	「?していたものだった」を学ぶ 1) サッカーをしていた 2) 漫画をよんでいた 3) 塾に行っていた	A B C D
第4回	「未来形」を学ぶ 1) 天気予報を言ってみる 2) 1年の予定を言う 3) ペアレッスン	A B C D
第5回	「関係代名詞」を学ぶ 1) 二つの文をひとつにする 2) チャットをしよう 3) シャンソンの単語を聞き取ろう	A B C D
第6回	友達を映画にさそう会話を考えよう。	A B C D
第7回	パワーポイントで自分の出身県を紹介しよう	A B C D
第8回	発表	A B C D
第9回	TV 5 (フランスのテレビ)を見ながら、買い物、レストランでの注文を実践しよう(1)	A B C D
第10回	TV 5を見ながら聞き取りをしてみよう	A B C D
第11回	絵葉書を書いてみよう	A B C D
第12回	友達とレストランに行く会話を考えよう。	A B C D
第13回	グループワーク(1)シナリオを作ってみる	A B C D
第14回	グループワーク(2)シナリオを作ってみる	A B C D

第15回	グループワーク(3) Ipad でビデオで撮影しよう	A B C D
第16回	発表	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/08/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190588005801	科目番号 / Course code	05880058
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 22419_032		
授業科目名 / Course title	上級外国語(中国語) / Advanced Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15, 教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaolan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部 1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の6校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講は学生が2年次までに習得した中国語基礎コミュニケーション能力の向上とより高度な表現力の養成をめざす。「読む・書く・聴く・話す」の四能力のうち、特に「聞く・話す」に重点を置きながら、標準的な日常会話ができる語学力を習得させる。		
授業到達目標/Course goals	テキストをもとに、日常生活によく使われる表現を用いて基本的な文法を学び、標準的な日常会話ができるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末テスト(60%)、口頭発表・課題(30%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	プリント配布		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業に関する説明
第2回	家族について
第3回	趣味について
第4回	勉強について
第5回	買い物について
第6回	スポーツについて
第7回	友達について
第8回	アルバイトについて
第9回	料理について
第10回	旅行について
第11回	学生生活について
第12回	気候について
第13回	交通について
第14回	将来について
第15回	中国語での発表
第16回	レポート提出

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190588005901	科目番号 / Course code	05880059
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 22519_032		
授業科目名 / Course title	上級外国語(韓国語) / Advanced Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教養教育B棟1階106番教員研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	韓国語?T??Wで身につけた韓国語コミュニケーション能力を総合し、実践する科目です。		
授業到達目標 / Course goals	?リサーチに必要な資料を日韓両言語で収集し、分析することができる。 ?日韓両言語でリサーチを行うことができる。 ?リサーチ結果を、日韓両言語で分かりやすく発信することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	事前活動 30% 現地リサーチ 30% プレゼン 20% 最終レポート 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、韓国?T??Wを履修した人を対象とします。また現地リサーチを含め、授業には全回出席しなければなりません。現地リサーチのための費用は本人負担となります。また受講希望者が、グループリサーチに必要な人数に達しない場合は、開講しないことがあります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	調査地バトル 個人プレゼン / 調査地を決定する / Webで調査地について調べる
第 3 回	リサーチ・トピック 個人プレゼン / リサーチ・トピックを決める / リサーチ方法について調べる
第 4 回	リサーチ方法 個人プレゼン / リサーチ・方法を決定する / リサーチ・クエスチョンを作る
第 5 - 6 回	最終チェック
第 7 - 1 0 回	現地リサーチ (4月28日?5月6日の間、2泊3日予定)
第 1 1 - 1 2 回	リサーチ結果の集計と分析
第 1 3 - 1 4 回	パワーポ制作
第 1 5 回	プレゼン

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588006601	科目番号 / Course code	05880066
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15771_001		
授業科目名 / Course title	自分のキャリアを考える講座 ~ 男女共同参画とダイバーシティの視点から ~ / Think Your Own Career - From Viewpoint of Gender Equality and Diversity -		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 中島 ゆり / Nakajima Yuri, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 伊東 昌 子 / Ito Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 ゆり / Yuri Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 中島 ゆり / Nakajima Yuri, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 伊東 昌 子 / Ito Masako		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年生、2年生 / 1st and 2nd graders		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yuyoshida nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	ダイバーシティ推進センター / Center for Diversity and Inclusion 教育学部220研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2383		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日12:10?12:50 (教育学部研究室でのみ対応)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	男女共同参画・ワークライフバランス・ダイバーシティを通して、社会の一員としてのキャリア形 成に役立てる / Through gender equality, work-life balance, diversity, we will use it to form a career as a member of society.		
授業到達目標 / Course goals	自分をよく理解すること、自分のやりたいこと、なりたい人物像を知ること。ワークライフ balan ス・ダイバーシティ (多様性) の意味を理解し、自分の将来のキャリア形成に関連付けることがで きるようになる / To understand yourself, to know what you want to do, to know the person you want to become. Understand the meaning of work-life balance, diversity and be able to relate it to your future career formation		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポートとプレゼンテーション (60%)、出席 (40%) プレゼンテーションは、グループで選 んだ課題をグループでまとめて、パワーポイントで発表してもらいます / Reports and presentations (60%), attendance (40%), In presentation, group chosen tasks and make a presentation using PowerPoint.		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	必要に応じて指示 / Instructions as necessary		
キーワード / Keywords	ダイバーシティ、キャリア、ワークライフバランス / diversity, career, work life balance		
教科書・教材・参考書 / Materials	必要に応じて資料を配布する / Distribute materials as necessary.		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	特になし / Nothing in particular		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	http://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp、http://nagasaki-ajisai.jp	
学生へのメッセージ/Message for students	この講義を担当するのは、長崎大学ダイバーシティ推進センターの伊東昌子です。長崎大学医学部を卒業して、長崎大学病院で医師として働き、今は同大学ダイバーシティ推進センターに勤務しています。ダイバーシティとは「多様性」という意味で、ダイバーシティ推進とは、さまざまな考え方や価値観を受け入れて、個人が個人としてイキイキと過ごし、自分の「やってみたいこと」「仕事にしたいこと」「こうやって生きたい」と思っていることを実現できるようにすることです。自分の人生と仕事のキャリアを考え、なりたい自分を見つける、また社会生活において他の人の考え方や価値観を尊重することの重要性や生活と仕事の相乗効果と一緒に考え、これから社会人になっていくみなさんために有意義な講義にしていきたいと思います。/ Masako Ito Masako, Center for Diversity and Inclusion, Nagasaki University is in charge of this lecture. After graduating from Nagasaki University School of Medicine, I worked as a medical doctor at Nagasaki University Hospital and now I work for Center for Diversity and Inclusion. Diversity means "to accept and cherish individual ideas and values". Consider about careers of your life and work, find what you want to be, think about the importance of respecting other people's thinking and values ??in social life, together with the synergistic effect of life and work together. I would like to make meaningful lectures for everyone who is going on.	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y / N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	吉田 ゆり / @病院 (児童精神科、小児神経科外来) の臨床心理士として医師の指示の元、発達・知能検査他検査や観察など診察補助を担当。また、療育手帳発行のための資料作成を行った (1年間) 。 / @発達障害外来を持つ病院での臨床心理士歴を持つ教員が、発達障害の各論とその指導法について講義 / @横浜市総合リハビリテーションセンター (非常勤)	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回 (4月10日)	自分のキャリアを自分で考える : ワークライフバランスとダイバーシティ (吉田)	A D
第2回 (4月17日)	介護 (親・祖父母の介護) とキャリア?@ (伊東昌子先生)	D
第3回 (4月17日)	介護 (親・祖父母の介護) とキャリア?A (伊東昌子先生)	D
第4回 (4月24日)	LGBTについて (中島)	B
第5回 (4月24日)	LGBTについて (中島)	B
第6回 (5月8日)	ジェンダーを考える (吉田)	B
第7回 (5月8日)	ジェンダーを考える (吉田)	D
第8回 (5月15日)	豊かに生きるためのコミュニケーション (吉田)	D
第9回 (5月15日)	無意識の偏見と差別を知る (伊東昌子先生)	D
第10回 (5月22日)	ワーク・ライフ・バランス (伊東昌子先生)	D
第11回 (5月22日)	ワーク・ライフ・バランス (伊東昌子先生)	A
第12回 (5月29日)	妊娠・出産・育児を取り巻く社会環境 (大石和代先生)	A
第13回 (5月29日)	親と子のきずなはどうつくられるか (大石和代先生)	A
第14回 (6月5日)	柔軟な働き方について考える (学生同士のディスカッションを中心に) (吉田)	A B
第15回 (6月5日)	柔軟な働き方について考える (学生同士のディスカッションを中心に) ・総括 (吉田)	A B

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/01/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588006701	科目番号 / Course code	05880067
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15781_004		
授業科目名 / Course title	データの科学 / Data Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 宰 / Yoshimura Osamu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 宰 / Yoshimura Osamu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 宰 / Yoshimura Osamu		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	osamu_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	大学教育イノベーションセンター・アドミッション部門		
担当教員TEL/Tel	095-819-2117		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (eメールで予約してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は、データに基づく意思決定を行うために必要な、データ収集・整理・表現・分析の基本的な心構えと知識・技能を身につけることを目的とする自由選択科目です。なお取り扱うデータは主として社会科学領域のものとしします。		
授業到達目標/Course goals	データを適切なグラフや表で表現しその特徴を読み取れるようになる。 データの要約統計量や集計表に基づきデータの特徴を説明できるようになる。 確率分布の考え方を理解し、確率を用いた意思決定を行えるようになる。 統計的仮説検定のロジックを理解できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	主として、授業中の質問への回答や演習での理解の状況、授業への積極的関与の程度、期末総合課題の結果によって、授業の到達目標を達成したかどうかについて総合的に評価します。評価基準は次の通り。 D: 達成できたとはいえない。(理解できていない内容がある) C: かるうじて授業目標を達成できたとみなせる。(資料や教員の助力があれば質問等に回答できる) B: 授業目標を達成しているが定着度は十分でない。(資料があれば自力で質問等に回答できる) A: 確実に授業目標を達成している。(資料に頼らずに質問等に回答できる) AA: 確実に授業目標を達成しており、身につけた知識・技能を応用できる。(応用的な内容の質問等に回答できる)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回の授業後にその回の授業で何が分かったか・できるようになったか (何が分からなかったか) をブログに記入してもらいます。次回の授業開始時刻までに記入がなければ欠席したものとみなします。必ず記入してください。		
キーワード/Keywords	標本調査, 母集団, 無作為標本, 平均, 中央値, 最頻値, 分散, 標準偏差, 標準化, 種々のグラフ, クロス表, 散布図, 独立, 共分散, 相関係数, 確率, 確率密度, 確率分布, 母数, 推測統計, 統計的仮説検定, 2乗, 単回帰分析		

教科書・教材・参考書/Materials	テキストは指定しません。 授業で用いたスライドを配布します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	このシラバスを読んでいる。（重要！） ・第1回目にパソコンを持参している。 ・パソコンの操作に慣れている。（アプリケーションを起動する、ダウンロードしたファイルを任意のフォルダに保存する。ソフトウェアをインストールする等） ・エクセル・ワードをある程度操作できる。 これらの要件をすべて満たしていなければ受講を認めません。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	参考となるWebサイトです。 ・データサイエンス・スクール（ http://www.stat.go.jp/dss/index.htm ）
学生へのメッセージ/Message for students	ビッグデータを簡単に得ることができる時代となったのは確かです。それをどう活かすかはスモールデータを適切に扱うための知識や技能が必要です。データの誤用、悪用を見抜く目を養いましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（11/29）	ガイダンスと準備（授業の概要説明） ・記述統計と推測統計 ・PC環境の整備・LACSの使い方についての説明 データ収集法の種類と特徴（質問紙調査を中心に） ・データの種類（質的データ、量的データ）、尺度 ・質問紙への回答データの入力（よくあるミス、ミスの発見）
第2回（12/6）	データの整理と要約（JMP入門） ・単純集計、クロス集計 ・平均値・中央値・最頻値、分散・標準偏差、標準化 ・作図
第3回（12/13）	2変量の連関（クロス集計、2乗値、散布図、共分散、相関係数） ・独立な2変量 データに基づく主張を批判的に吟味する
第4回（12/20）	推測統計 ・母集団と標本 ・無作為抽出 サンプリング実験 ・乱数 ・母平均の推定値と標準誤差 ・理論の説明 演習
第5回（1/10）	確率、確率変数、確率分布、確率密度 ・確率分布とは ・データに基づく意思決定（確率的な判断） 演習
第6回（1/17）	統計的仮説検定（1） ・z検定 ・母平均と母分散が分かっている場合 ・帰無仮説 演習
第7回（1/24）	統計的仮説検定（2） ・2乗値を用いた検定 ・2乗値とは ・2乗分布 ・帰無仮説 演習
第8回（1/31）	回帰分析、重回帰分析 ・従属変数と独立変数（目的変数と説明変数） ・回帰係数、標準化回帰係数 ・変数選択、重相関係数係数、決定係数 期末課題（総合演習）

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588007001	科目番号 / Course code	05880070
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15791_001		
授業科目名 / Course title	生物の科学 / Biological Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	takahasi nagasaki-u.ac.jpまたはshabshab q.vodafone.ne.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメール, 電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>ヒトのからだや生命の仕組みを探る上で、動物の体構造や機能を知ることには大変重要なことである。一方で、我々は、動物の行動という、言葉に代わる動物の表現を把握し、動物との対話を推し進めてきた。現在、ヒトの健康や病気の治療に用いられる医薬品の開発や作用機構を知るためには動物実験は欠かせないが、その生命を擲ってくれる動物がその行動を通じて我々にどのように情報を与えようとしているのか、我々は的確に判断しなければならない。言い換えれば、物言えぬ動物の行動という言葉の投げかけに対し、十分理解することによって動物との対話が成り立つ。ここでは、行動分析的切り口から動物の行動を学習し、現代の科学的発展への役割を理解する。また、授業の後半では、動物の行動を通じて知り得た情報が、単なる偶然の産物なのか、それとも科学的に信頼できる意義のあるデータであるのかを、統計初心者にも分かる簡単な統計的手法を用い、科学的根拠に基づいた動物行動であるかどうかを分析、理解できることもねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動物の行動や動物実験から何がわかるか説明できる(基盤的知識, 自主的探求) 2. 薬物の適正使用や乱用薬物の有害性について理解する(基盤的知識, 批判的思考) 3. 動物の行動分析を通じて、薬の開発への経緯を理解する(基盤的知識, 多様性の意義) 4. 動物の行動からヒトの社会科学への展開を説明できる(自主的探求, 自己表現力, 多様性の意義) 5. 動物実験データの基本的な推計学的分析ができ、信頼性について理解し、説明できるようになる(基盤的知識, 自己表現力) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験(60%), 随時行う講義中の小テスト, レポート(20%)および授業への積極的な参加・貢献度(20%)から総合的に判断して成績評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回、その日の学習課題の復習や発展応用力をねらいとした自宅学習用課題を配布し、学習の完成度を高めます。随時、提出を求め、成績評価に組み込みます。		
キーワード / Keywords	動物行動科学 動物モデル 乱用薬物 行動分析 行動毒性 推計学		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布する。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	原則として全回出席することを単位認定の要件とする。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	一般教養レベルとして医薬品開発のための動物実験や動物の行動分析を学び、今後の学習への志向、態度を涵養する。
学生へのメッセージ/Message for students	授業科目名は「生物の科学」で内容は「動物の行動分析と推計学」であり、少し専門的と感じるかも知れませんが、教養教育としての一般教養レベルです。また推計学と言えば難しいのではと考えますが、簡単に理解できる初歩レベルです。授業では図表を多用したパワーポイントとハンドアウト資料で、優しく分かり易く説明しています。その日の復習小テストで理解度を確認しつつ進めていきます。そのため到達目標達成度は、2018年ではAA,A評価が51(33,18)%,最低限の到達目標に届かなかった受講者は4%でした(失格、欠席者を除く)。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方 動物の行動(1) 本能行動, 動物実験とその意義
第2回	動物の行動機能試験(1) 情動系 動物の向精神作用とその動物モデル
第3回	動物の行動機能試験(2) 情動系 動物と不安, ストレス
第4回	動物の行動機能試験(3) 報償系 動物が教える薬物乱用の怖さ
第5回	動物の行動機能試験(4) 報償系 薬物依存に関する行動分析
第6回	動物の行動機能試験(5) 生体防御系 医薬品の適正使用と薬物依存
第7回	動物の行動機能試験(6) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験法
第8回	動物の行動機能試験(7) 学習・記憶系 抗健忘薬・向知性薬
第9回	動物の行動機能試験(8) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験の分析法
第10回	動物の行動機能試験(9) 動物の行動毒性から学ぶこと
第11回	動物実験とデータ処理(1) 動物実験で使用される基本的検定法1
第12回	動物実験とデータ処理(2) 動物実験で使用される基本的検定法2
第13回	動物実験とデータ処理(3) 動物実験で使用される基本的検定法3
第14回	動物実験とデータ処理(4) メンデルの実験データを考える
第15回	全授業の総括
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588007002	科目番号 / Course code	05880070
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15791_001		
授業科目名 / Course title	生物の科学 / Biological Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi nagasaki-u.ac.jpまたはshabshab q.vodafone.ne.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール, 電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>ヒトのからだや生命の仕組みを探る上で、動物の体構造や機能を知ることが大変重要なことである。一方で、我々は、動物の行動という、言葉に代わる動物の表現を把握し、動物との対話を推し進めてきた。現在、ヒトの健康や病気の治療に用いられる医薬品の開発や作用機構を知るためには動物実験は欠かせないが、その生命を擲ってくれる動物がその行動を通じて我々にどのように情報を与えようとしているのか、我々は的確に判断しなければならない。言い換えれば、物言えぬ動物の行動という言葉の投げかけに対し、十分理解することによって動物との対話が成り立つ。ここでは、行動分析的切り口から動物の行動を学習し、現代の科学的発展への役割を理解する。また、授業の後半では、動物の行動を通じて知り得た情報が、単なる偶然の産物なのか、それとも科学的に信頼できる意義のあるデータであるのかを、統計初心者にも分かる簡単な統計的手法を用い、科学的根拠に基づいた動物行動であるかどうかを分析、理解できることもねらいとする。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動物の行動や動物実験から何がわかるか説明できる(基盤的知識, 自主的探求) 2. 薬物の適正使用や乱用薬物の有害性について理解する(基盤的知識, 批判的思考) 3. 動物の行動分析を通じて、薬の開発への経緯を理解する(基盤的知識, 多様性の意義) 4. 動物の行動からヒトの社会科学への展開を説明できる(自主的探求, 自己表現力, 多様性の意義) 5. 動物実験データの基本的な推計学的分析ができ、信頼性について理解し、説明できるようになる(基盤的知識, 自己表現力) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験(60%), 随時行う講義中の小テスト, レポート(20%)および授業への積極的な参加・貢献度(20%)から総合的に判断して成績評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回、その日の学習課題の復習や発展応用力をねらいとした自宅学習用課題を配布し、学習の完成度を高めます。随時、提出を求め、成績評価に組み込みます。		
キーワード / Keywords	動物行動科学 動物モデル 乱用薬物 行動分析 行動毒性 推計学		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則として全回出席することを単位認定の要件とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	一般教養レベルとして医薬品開発のための動物実験や動物の行動分析を学び、今後の学習への志向、態度を涵養する。
学生へのメッセージ/Message for students	授業科目名は「生物の科学」で内容は「動物の行動分析と推計学」であり、少し専門的と感じるかも知れませんが、教養教育としての一般教養レベルです。また推計学と言えば難しいのではと考えますが、簡単に理解できる初歩レベルです。授業では図表を多用したパワーポイントとハンドアウト資料で、優しく分かり易く説明しています。その日の復習小テストで理解度を確認しつつ進めていきます。そのため到達目標達成度は、2018年ではAA,A評価が51(33,18)%,最低限の到達目標に届かなかった受講者は4%でした（失格者、欠席者を除く）。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方 動物の行動（1）本能行動、動物実験とその意義
第2回	動物の行動機能試験（1）情動系 動物の向精神作用とその動物モデル
第3回	動物の行動機能試験（2）情動系 動物と不安、ストレス
第4回	動物の行動機能試験（3）報償系 動物が教える薬物乱用の怖さ
第5回	動物の行動機能試験（4）報償系 薬物依存に関する行動分析
第6回	動物の行動機能試験（5）生体防御系 医薬品の適正使用と薬物依存
第7回	動物の行動機能試験（6）学習・記憶系 学習・記憶機能試験法
第8回	動物の行動機能試験（7）学習・記憶系 抗健忘薬・向知性薬
第9回	動物の行動機能試験（8）学習・記憶系 学習・記憶機能試験の分析法
第10回	動物の行動機能試験（9）動物の行動毒性から学ぶこと
第11回	動物実験とデータ処理（1）動物実験で使用される基本的検定法 1
第12回	動物実験とデータ処理（2）動物実験で使用される基本的検定法 2
第13回	動物実験とデータ処理（3）動物実験で使用される基本的検定法 3
第14回	動物実験とデータ処理（4）メンデルの実験データを考える
第15回	全授業の総括
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/07/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588007201	科目番号 / Course code	05880072
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15801_001		
授業科目名 / Course title	ボランティアを通して地域を知る / Discover Your Community Through Volunteer Activity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井口 茂 / Inokuti Shigeru, 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 矢野 香 / Yano Kaori, 伊東 昌子 / Ito Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	井口 茂 / Inokuti Shigeru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	井口 茂 / Inokuti Shigeru, 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 矢野 香 / Yano Kaori, 伊東 昌子 / Ito Masako		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年生、2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shigeru nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部保健学科		
担当教員TEL/Tel	095-819-7962		
担当教員オフィスアワー/Office hours	8時30分-12時、13時00分-17時30分/8:30-12:00, 13:00-17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	少子・高齢化社会で生きていくために、高齢者についての理解を深め、介護の現実と介護者支援の必要性を理解する。また、子どもたちの成長過程や親子の絆を学ぶ。講義の中で、実際にボランティアの機会を通して自らも成長し、社会のフィールドにおいて、豊かなコミュニケーション力を育み学びを深める。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・人とのコミュニケーションにおいて、傾聴できるようになる。 ・ボランティア体験を通して、地域で暮らす高齢者や子どもとその社会について理解できるようになる。 ・介護している人(介護者)の支援について理解できるようになる。 ・子育ての重要性について理解できるようになる。 ・ワークライフバランスについて、理解できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーション課題(40点)+レポート課題(40点)+授業への取組み(20点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	必要に応じて指示/ Instructions as necessary		
キーワード/Keywords	高齢者、子ども、支援、ボランティア、地域		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布する/ Distribute materials as necessary		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	指定された週末(主に土曜日)にフィールドワーク(ボランティア)に参加できること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)	注釈: フィールドワークは、日程調整のうえ実施します。1回3時間×2回とし、計4回分の講義(第10回と第11回、第12回と第14回)への出席・参加として評価します。		

学生へのメッセージ/Message for students	本講義では、少子・高齢社会で生きる若い世代のみなさんと、高齢者や介護者支援、ボランティアについて一緒に考えます。今後社会に出て活躍する際に、自身のライフイベントとして避けては通れないことを一緒に考えていきましょう。興味がある方は、是非受講ください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	井口 茂 / 理学療法士として地域活動における実務経験 / 要介護者及び認知症の対象者について必要な基本的知識、技術を指導する。 伊東 昌子 / 医師として大学病院における実務経験 / ライフイベントについて必要な知識を指導する。 永橋 美幸 / 助産師として大学病院における実務経験 / 子育てにおける子どもの発達について必要な知識を指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回：6月12日	長寿社会の光と影 (担当：井口)
2回：6月12日	高齢者の特性と地域活動 (担当：井口)
3回：6月19日	傾聴を学ぼう (担当：井口)
4回：6月19日	傾聴を学ぼう (担当：井口)
5回：6月26日	仕事を辞めずに介護をする大切さを学ぶ (担当：伊東)
6回：6月26日	フィールドワークに向けたオリエンテーションとグループワーク (担当：井口)
7回：7月3日	ボランティアのためのコミュニケーションのとり方を学ぶ (担当：矢野)
8回：7月3日	ボランティアのためのコミュニケーションのとり方を学ぶ (担当：矢野)
9回：7月10日	こどもの心と身体の発育・発達?@ (担当：永橋)
10回：7月10日	こどもの心と身体の発育・発達?A (担当：永橋)
11回：7月17日	フィールドワーク?@ (担当：井口)
12回：7月17日	フィールドワーク?A (担当：井口)
13回：7月24日	認知症サポーター養成講座 (担当：井口)
14回：7月24日	認知症サポーター養成講座 (担当：井口)
15回：7月31日	ディスカッション、プレゼンテーション、総評 (担当：井口)
16回：7月31日	予備日 (担当：井口)

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588010001	科目番号 / Course code	05880100
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11411_001		
授業科目名 / Course title	平成長崎塾 / Nagasaki and Its Culture Historical Perspectives		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 太田 久 / Oota Hisashi, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 冨塚明 / Tomiduka Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 太田 久 / Oota Hisashi, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 冨塚明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	takahasi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメール、電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>笠を負って長崎に游学する...長崎は昔から町全体が大学だった、ともいわれています。ならば長崎に游学した勝海舟、坂本龍馬、高杉晋作、福澤諭吉は長大OBといって自慢していい。こんな由緒ある長崎大学あるいは長崎の歴史は？文化は？産業は？地域が誇るものは？原爆被災や復興は？...この講義では、そのルーツから現在までの長崎大学の歴史と、そしてこの長崎大学を育み、かつ大学とともに歩んできた長崎の街やを多面的な切り口から学び知ることによって、長崎大学で学び、長崎の街で学生生活を送る諸君が、本学や長崎を誇りに思い(愛校精神)、将来、地域の活性化や社会貢献の意欲を持ってもらいます。また、多面的なものの見方、考え方があることを知り、長崎のより深い知識、理解を発展させる学習意欲を身につけてもらうこともねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 長崎大学や長崎の歴史、文化、文学、産業の概要が説明できるようになる。 2. 多面的なものの見方、考え方があることを理解できる。 3. 歴史、文化、文学、産業の長崎独自性について意見を展開できるようになる。 4. 長崎のより深い知識、理解を発展させる学習意欲を身に付ける。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎回の積極的な授業への出席を前提に、提出するレポートで評価します(100%)。授業中に配布するレポート用紙を用いること(用紙のコピーなど不正用紙の使用は採点しません)。配布時に不在の場合、レポート用紙は渡しません。授業に欠席・大幅な遅刻の場合、正当な理由を除きレポートは受け付けません。提出期日に遅れて提出したレポートは受理しないか、あるいは減点します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業の特性上、各回の授業内容に関するハンドアウトは当日配布になると思われまますので、通常の事前学習は難しいかもしれません。しかし、各回それぞれの授業内容に関連する分野・領域について広く予習をしておくことで授業が理解しやすいでしょう。		
キーワード / Keywords	長崎大学、長崎、長崎学、シーボルト、ポンペ、長崎の歴史、長崎の文化、長崎の産業、世界遺産、長崎と原爆		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	毎回の積極的な授業への出席を前提に、受講態度や提出するレポート内容で評価します(100%)		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	平成28年度から開講されている必修科目「長崎地域学」にも広く連携しており、多面的に長崎のことを深く学べる科目です。
学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学や長崎の歴史、文化など多面的に知り、長崎大学生であることを誇りに思い、長崎の街に興味を持って学びに潤いのある学生生活を送ることで。本科目を履修し、長崎学により深い興味を持ち、長崎検定などに合格することも、学習意欲を身に付けることにつながります。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	太田 久/農林技術開発センター茶業研究室 室長の実務経験を有している。/農林技術開発センター茶業研究室室長の実務経験を活かし、長崎県の茶業について幅広い知識と研究に関する相違工夫をもって、学生たちへ長崎の産業、文化を多面的な視点からとらえることができるよう指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	1) 科目の趣旨説明, 講義概要, 講義の進め方, 長崎大学の現況 (高橋)
第2回	1) フォン・シーボルトと鳴滝塾 (相川・特別講師)
第3回	2) 海軍伝習と日本の近代化 (相川・特別講師)
第4回	3) ボンペ・ファン・メールデルフォールトの医学伝習 (相川・特別講師)
第5回	2) 長崎ことはじめ, 長崎が誇る世界遺産 1 (高橋)
第6回	3) 長崎が誇る世界遺産 2, 長崎の歴史を築いた人々 1 (高橋)
第7回	1) 長崎とお茶 ?古から現代まで? (太田)
第8回	1) シーボルトが使ったくすり?19世紀長崎での薬の輸入と革新 (田中)
第9回	1) 長崎と原爆 1 (冨塚)
第10回	2) 長崎と原爆 2 (冨塚)
第11回	4) 長崎の歴史を築いた人々 2 (高橋)
第12回	5) 長崎の歴史散策紹介 1 (高橋)
第13回	6) 長崎の歴史散策紹介 2 (高橋)
第14回	7) 長崎文学の旅, 長崎事件簿 (高橋)
第15回	8) 長崎検定・長崎通への誘い, まとめ (高橋)
第16回	予備日

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588015001	科目番号 / Course code	05880150
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 03161_003		
授業科目名 / Course title	基礎物理 / Basic Physics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇佐美 寛 / Usami Kan		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	宇佐美 寛 / Usami Kan		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	宇佐美 寛 / Usami Kan		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan fsinet.or.jp		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	usamikan@fsinet.or.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	usamikan@fsinet.or.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高等学校「物理基礎」の内容のうち、「物体の運動」に関する部分を中心に取り上げる。物体の運動が基本原理（ニュートンの運動の3法則、特に運動方程式）によって記述されること、また、この基本原理から力学的エネルギー保存則が導かれることを学ぶ。さらに、エネルギーの概念は、熱や電磁気の分野においても適用されることを学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物体の運動を、時間変化する量（位置、速度、加速度）のグラフや式で表すことができる。 2. 運動方程式を立てることができる。 3. 一定の力がはたらくときの運動方程式を解くことができる。 4. 力学的エネルギー保存則から運動に関する情報を得ることができる。 5. 熱現象におけるエネルギー保存則を説明できる。 6. 簡単な電気回路での電流、電圧、ジュール熱などを求めることができる。 7. 電流と磁界の関係や電磁誘導について説明できる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験60% 小テスト25%（授業時に実施） 提出課題10% 授業への取組み5%		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の授業の復習として、問題演習を十分に行うこと。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教材：九州高等学校理科教育研究会、「物理基礎研究ノート2019」、博洋社 参考書：為近和彦、「高校生が感動した物理の授業」、PHP研究所		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	宇佐美 寛/高等学校教諭としての経験を有している。/本科目については、入試において一定の成績を収めていない学生又は、高等学校の普通科以外の学科の卒業生を主に対象に実施する科目である。本講師はこれまでの学校現場における教員経験を活かし、高校6年間程度の英語に関するリメディアル授業を指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	位置、速度
第2回	速度の合成、相対速度、加速度
第3回	等加速度直線運動
第4回	いろいろな力、力のつり合い
第5回	運動の法則、運動方程式
第6回	落体の運動
第7回	物体系の運動、摩擦力
第8回	圧力と浮力
第9回	仕事、仕事率
第10回	運動エネルギー、位置エネルギー
第11回	力学的エネルギー保存則
第12回	熱と温度
第13回	熱と仕事
第14回	電気回路
第15回	電流と磁界、電磁誘導
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/07/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588015002	科目番号 / Course code	05880150
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 03161_003		
授業科目名 / Course title	基礎物理 / Basic Physics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇佐美 寛 / Usami Kan		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	宇佐美 寛 / Usami Kan		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	宇佐美 寛 / Usami Kan		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan fsinet.or.jp		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	usamikan@fsinet.or.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	usamikan@fsinet.or.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高等学校「物理基礎」の内容のうち、「物体の運動」に関する部分を中心に取り上げる。物体の運動が基本原理（ニュートンの運動の3法則、特に運動方程式）によって記述されること、また、この基本原理から力学的エネルギー保存則が導かれることを学ぶ。さらに、エネルギーの概念は、熱や電磁気の分野においても適用されることを学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物体の運動を、時間変化する量（位置、速度、加速度）のグラフや式で表すことができる。 2. 運動方程式を立てることができる。 3. 一定の力がはたらくときの運動方程式を解くことができる。 4. 力学的エネルギー保存則から運動に関する情報を得ることができる。 5. 熱現象におけるエネルギー保存則を説明できる。 6. 簡単な電気回路での電流、電圧、ジュール熱などを求めることができる。 7. 電流と磁界の関係や電磁誘導について説明できる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験60% 小テスト25%（授業時に実施） 提出課題10% 授業への取組み5%		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の授業の復習として、問題演習を十分に行うこと。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教材：九州高等学校理科教育研究会、「物理基礎研究ノート2019」、博洋社 参考書：為近和彦、「高校生が感動した物理の授業」、PHP研究所		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	宇佐美 寛/高等学校教諭としての経験を有している。/本科目については、入試において一定の成績を収めていない学生又は、高等学校の普通科以外の学科の卒業生を主に対象に実施する科目である。本講師はこれまでの学校現場における教員経験を活かし、高校6年間程度の英語に関するリメディアル授業を指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	位置、速度
第2回	速度の合成、相対速度、加速度
第3回	等加速度直線運動
第4回	いろいろな力、力のつり合い
第5回	運動の法則、運動方程式
第6回	落体の運動
第7回	物体系の運動、摩擦力
第8回	圧力と浮力
第9回	仕事、仕事率
第10回	運動エネルギー、位置エネルギー
第11回	力学的エネルギー保存則
第12回	熱と温度
第13回	熱と仕事
第14回	電気回路
第15回	電流と磁界、電磁誘導
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/07/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588015101	科目番号 / Course code	05880151
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC_03211_003		
授業科目名 / Course title	基礎化学 / Basic Chemistry		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yasuyasu851 mxb.cncm.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室にて水曜日 15:30以降・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高等学校で「化学基礎」を履修していない学生を対象に、高等学校「化学基礎」の範囲の基礎的 基本的内容を学習します。		
授業到達目標/Course goals	高等学校「化学基礎」で履修する範囲の基礎的基本的な学習内容について理解し、学習内容を関連 の分野で活用できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価は、定期試験 60%、授業中に実施する小テストおよび提出課題の評価 40%で行います 。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各授業回終了ごとに、授業範囲の復習と問題演習に取り組んでください。		
キーワード/Keywords	基礎化学 化学基礎		
教科書・教材・参考書/Materials	数研出版 「改訂版 化学基礎」		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず準備すること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	化学の基礎基本を学習します。関連の項目について積極的な演習をおこないましょう。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	筒井 保之 / 高等学校教諭としての経験を有している。 / 本科目については、入試において一定の成績を収めていない学生又は、高等学校の普通科以外の学科の卒業生を主に対象に実施する科目である。本講師はこれまでの学校現場における教員経験を活かし、高校6年間程度の英語に関するリメディアル授業を指導する。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 1 物質の構成
第2回	2 物質の構成粒子 原子とその構造、電子配置、イオン、周期表
第3回	3 粒子の結合 (1)イオン結合とイオンからなる物質、(2)共有結合と分子
第4回	(3)分子の極性と分子間力、(4)共有結合の物質、(5)金属結合と金属
第5回	(6)化学結合のまとめ・結晶 4 物質と化学反応式 (1)原子量、分子量、式量
第6回	(2)物質質量 (3)化学反応式
第7回	(4)化学反応式と物質質量
第8回	(5)演習
第9回	5 酸と塩基 (1)酸・塩基
第10回	(2)水の電離と水溶液のpH
第11回	(3)中和反応
第12回	(4)塩の分類と液性 (5)演習
第13回	6 酸化還元反応 (1)酸化と還元 (2)酸化剤と還元剤
第14回	(3)酸化還元反応 (4)金属の酸化還元反応
第15回	(5)演習 (6)酸化還元反応の利用
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588015201	科目番号 / Course code	05880152
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 04111_004		
授業科目名 / Course title	基礎生物 / Basic Biology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育、医、歯、薬、環境科学部の1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	heykura10 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	095-800-6622		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて質問や要望を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高等学校において生物基礎を履修していない者、歯学部の場合はセンター試験において生物を利用していない者に対して、高校の教科書を用いて講義を行う。		
授業到達目標/Course goals	教科書「高等学校生物基礎」の内容を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	15回の講義の終わり10分間で確認の小テストを実施する。各3点満点としその合計45点を平常点とする。期末考査の得点を55点に換算して平常点の45点を加えて100点として評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	高等学校「生物基礎」(数研出版)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	教育学部、医学部、薬学部、環境科学部の1年生で高等学校において生物基礎を履修していない者、あるいは歯学部1年生でセンター試験において生物を利用していない者。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高校の教科書「生物基礎」に目を通し、常識的内容を理解し大学での専門的な生物関係の教科・科目を学んでいく手がかり・足がかりとする。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	平倉 充 / 高等学校教諭としての経験を有している。 / 本科目については、入試において一定の成績を収めていない学生又は、高等学校の普通科以外の学科の卒業生を主に対象に実施する科目である。本講師はこれまでの学校現場における教員経験を活かし、高校6年間程度の英語に関するリメディアル授業を指導する。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第一章 生物の特徴 ・生物の多様性 ・生物の共通性と多様性の起源 ・生物の特性 ・細胞の多様性
第2回	第一章 生物の特徴 ・細胞の構造にみられる共通性 ・代謝とATP ・ATPの構造と働き
第3回	第一章 生物の特徴 ・葉緑体も構造と色素 ・光エネルギーの吸収 ・光合成の過程
第4回	第一章 生物の特徴 ・ミトコンドリアと細胞質基質 ・呼吸の過程
第5回	第二章 遺伝子とその働き ・遺伝子の本体 ・DNAの構造
第6回	第二章 遺伝子とその働き ・遺伝情報の複製と分配 (・細胞周期・遺伝情報の複製・遺伝情報の分配)
第7回	第二章 遺伝子とその働き ・タンパク質 ・転写と翻訳 ・タンパク質の合成
第8回	第二章 遺伝子とその働き ・遺伝子とゲノム ・細胞内での遺伝子の発現
第9回	第三章 生物の体内環境 ・恒常性とは ・体液の種類 ・血液の成分と働き ・酸素の運搬 ・血液凝固
第10回	第三章 生物の体内環境 ・肝臓の働き ・体液の濃度調節 (・浸透圧の調節 ・単細胞生物の調節 ・無脊椎動物の調節)
第11回	第三章 生物の体内環境 ・魚類にみられる体液の調節 ・ほ乳動物にみられる体液の調節 (腎臓の働き)
第12回	第三章 生物の体内環境 ・免疫 (・体液性免疫 ・細胞性免疫 ・アレルギー ・予防接種と血清療法)
第13回	第三章 生物の体内環境 ・自律神経系と内分泌系 (・ホルモンによる調節 ・自律神経による調節 ・共同調節)
第14回	第四章 バイオームの多様性と分布 ?生物の多様性とバイオーム ?バイオームの形成過程 ?バイオームとその分布
第15回	第五章 生態系とその保全 ・生態系の成り立ち (食物連鎖と栄養段階) ・物質循環とエネルギーの流れ (炭素、窒素の循環) ・生態系のバランスと保全 ・自然環境の保全
第16回	期末考査【50分間、5問】 5問については、講義最終回の折に出題分野を提示する。

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/07/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588015202	科目番号 / Course code	05880152
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 04111_004		
授業科目名 / Course title	基礎生物 / Basic Biology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育、医、歯、薬、環境科学部の1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	heykura10 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	095-800-6622		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて質問や要望を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高等学校において生物基礎を履修していない者、歯学部の場合はセンター試験において生物を利用していない者に対して、高校の教科書を用いて講義を行う。		
授業到達目標/Course goals	教科書「高等学校生物基礎」の内容を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	15回の講義の終わり10分間で確認の小テストを実施する。各3点満点としその合計45点を平常点とする。期末考査の得点を55点に換算して平常点の45点を加えて100点として評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	高等学校「生物基礎」(数研出版)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	教育学部、医学部、薬学部、環境科学部の1年生で高等学校において生物基礎を履修していない者、あるいは歯学部1年生でセンター試験において生物を利用していない者。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高校の教科書「生物基礎」に目を通し、常識的内容を理解し大学での専門的な生物関係の教科・科目を学んでいく手がかり・足がかりとする。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第一章 生物の特徴 ?生物の多様性 ?生物の共通性と多様性の起源 ?生物の特性 ?細胞の多様性
第2回	第一章 生物の特徴 ?細胞の構造にみられる共通性 ?代謝とATP ?ATPの構造と働き
第3回	第一章 生物の特徴 ?葉緑体も構造と色素 ?光エネルギーの吸収 ?光合成の過程
第4回	第一章 生物の特徴 ?ミトコンドリアと細胞質基質 ?呼吸の過程
第5回	第二章 遺伝子とその働き ?遺伝子の本体 ?DNAの構造
第6回	第二章 遺伝子とその働き ?遺伝情報の複製と分配 (・細胞周期・遺伝情報の複製・遺伝情報の分配)
第7回	第二章 遺伝子とその働き ?タンパク質 ?転写と翻訳 ?タンパク質の合成
第8回	第二章 遺伝子とその働き ?遺伝子とゲノム ?細胞内での遺伝子の発現
第9回	第三章 生物の体内環境 ?恒常性とは ?体液の種類 ?血液の成分と働き ?酸素の運搬 ?血液凝固
第10回	第三章 生物の体内環境 ?肝臓の働き ?体液の濃度調節 (・浸透圧の調節・単細胞生物の調節・無脊椎動物の調節)
第11回	第三章 生物の体内環境 ?魚類にみられる体液の調節 ?ほ乳動物にみられる体液の調節 (腎臓の働き)
第12回	第三章 生物の体内環境 ?免疫 (・体液性免疫・細胞性免疫・アレルギー・予防接種と血清療法)
第13回	第三章 生物の体内環境 ?自律神経系と内分泌系 (・ホルモンによる調節・自律神経による調節・共同調節)
第14回	第四章 バイオームの多様性と分布 ?生物の多様性とバイオーム ?バイオームの形成過程 ?バイオームとその分布
第15回	第五章 生態系とその保全 ?生態系の成り立ち (食物連鎖と栄養段階) ?物質循環とエネルギーの流れ (炭素、窒素の循環) ?生態系のバランスと保全 ?自然環境の保全
第16回	期末考査【50分間、5問】 5問については、講義最終回の折に出題分野を提示する。

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/07/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588015302	科目番号 / Course code	05880153
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC_03261_003		
授業科目名 / Course title	基礎数学 / Basic Mathematics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中川 幸久 / Nakagawa Yukihiisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中川 幸久 / Nakagawa Yukihiisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中川 幸久 / Nakagawa Yukihiisa		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学年 (基本的に経済学部のAO・推薦入試で合格した人を対象にしています)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-nakagawa_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育棟新館「251号室」		
担当教員TEL/Tel	研究室095-819-2090		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日(13:00-17:00) 火曜日(13:00-17:00) 木曜日(13:00-17:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校学校で学ぶ数学?Tおよび数学A, 数学?Uおよび数学Bの分野を学習し、大学の学修への円滑な連携を図る。		
授業到達目標/Course goals	高等学校で身につけておくべき数学の知識や活用力の定着を図る。また、大学で学ぶ初等数学の理解を深める。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	小テスト(確認テスト)、定期試験、授業への意欲・興味・関心など総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	高校数学の基礎力を身につける。		
教科書・教材・参考書/Materials	開講時に配布する「テキスト」を使用する。		
受講要件(履修条件) /Prerequisites	15回の講義に毎回、出席すること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	基本的に経済学部のAO・推薦入試で合格した人を対象としています。高等学校で学ぶ数学の総復習を行います。意欲のある人の受講を望みます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	中川 幸久/高等学校教諭としての経験を有している。/本科目については、入試において一定の成績 を収めていない学生又は、高等学校の普通科以外の学科の卒業生を主に対象に実施する科目である。 本講師はこれまでの学校現場における教員経験を活かし、高校6年間程度の英語に関するリメディ アル授業を指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	1. 式の計算
第2回	2. 等式・不等式の証明
第3回	3. 恒等式
第4回	4. 2次方程式の解
第5回	5. 因数分解
第6回	6. 3次方程式
第7回	7. 図解と方程式
第8回	8. 指数関数
第9回	9. 指数・対数
第10回	10. 対数関数
第11回	11. 関数の極限
第12回	12. 整関数の微分
第13回	13. 3次関数のグラフ
第14回	14. 3次関数のグラフ
第15回	15 総演習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588015401	科目番号 / Course code	05880154
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 02811_002		
授業科目名 / Course title	基礎英語 / Basic English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡村 真由美 / Okamura Mayumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡村 真由美 / Okamura Mayumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡村 真由美 / Okamura Mayumi		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gto2_mayumi3 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	-		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日15:30~16:00 非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力・運用力を養成し、大学英語への橋渡しをすることをねらいとする。テキストを使って文法の定着を図る。平易な英語新聞の記事を読むことで、科学、地理、世界情勢等に関する知識を英語を介して習得する。		
授業到達目標/Course goals	(1) 高等学校までの既習事項を振り返り、復習することで、運用能力を高める。 (2) 英文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書や資料を精読し、内容を理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	(1) 中間試験 40% (2) 定期試験 40% (3) 授業中の活動・課題の提出状況等 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(1) テキストにある演習問題を予習・復習の教材とする。 (2) 授業で使用する長文のプリントは毎時間配布される。 (3) 小テストで前時の学習内容の定着を図る。問題はテキストとプリントから出題される。		
キーワード / Keywords	基本的な文法や構文に関する事項を復習し、長文の読解力の向上につなげる		
教科書・教材・参考書 / Materials	・『整理と演習 英文法』(啓林館)(学内書店で販売)・英語辞書、3色ボールペン、蛍光サインペン、ノート		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	可能な限り個別対応を心がけます
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づ く教育内容(実務経験のある教員による授業科 目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	岡村 真由美/高等学校教諭としての経験を有している。/本科目については、入試において一定の成 績を収めていない学生又は、高等学校の普通科以外の学科の卒業生を主に対象に実施する科目である 。本講師はこれまでの学校現場における教員経験を活かし、高校6年間程度の英語に関するリメデ ィアル授業を指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション(授業の進め方について) ・基礎力判断テスト(指導の参考にします) ・Today's Reading 1(プリントを用いて) ・単語&文法事項の確認(テキストを用いて) 動詞と時制
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト(授業の進め方について前時学習内容の確認) ・Today's Reading 2 ・単語&文法事項の確認 助動詞
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 3 ・単語&文法事項の確認 受動態
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 4 ・単語&文法事項の確認 不定詞
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 5 ・単語&文法事項の確認 動名詞
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 6 ・単語&文法事項の確認 分子
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 7 ・単語&文法事項の確認 前置詞
	中間試験(第1回?第7回の学習内容から出題する)
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 8 ・単語&文法事項の確認 接続詞
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 9 ・単語&文法事項の確認 関係詞
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 10 ・単語&文法事項の確認 形容詞・副詞
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 11 ・単語&文法事項の確認 比較の構文
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 12 ・単語&文法事項の確認 句
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 13 ・単語&文法事項の確認 節
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 14 ・単語&文法事項の確認 仮定法
	定期試験(第8回?第14回の学習内容から出題する)

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/07/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588015402	科目番号 / Course code	05880154
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 02811_002		
授業科目名 / Course title	基礎英語 / Basic English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡村 真由美 / Okamura Mayumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡村 真由美 / Okamura Mayumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡村 真由美 / Okamura Mayumi		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gto2_mayumi3 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	-		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日15:30~16:00 非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力・運用力を養成し、大学英語への橋渡しをすることをねらいとする。テキストを使って文法の定着を図る。平易な英語新聞の記事を読むことで、科学、地理、世界情勢等に関する知識を英語を介して習得する。		
授業到達目標/Course goals	(1) 高等学校までの既習事項を振り返り、復習することで、運用能力を高める。 (2) 英文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書や資料を精読し、内容を理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	(1) 中間試験 40% (2) 定期試験 40% (3) 授業中の活動・課題の提出状況等 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	(1) テキストにある演習問題を予習・復習の教材とする。 (2) 授業で使用する長文のプリントは毎時間配布される。 (3) 小テストで前時の学習内容の定着を図る。問題はテキストとプリントから出題される。		
キーワード/Keywords	基本的な文法や構文に関する事項を復習し、長文の読解力の向上につなげる		
教科書・教材・参考書/Materials	・『整理と演習 英文法』(啓林館)(学内書店で販売)・英語辞書、3色ボールペン、蛍光サインペン、ノート		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	可能な限り個別対応を心がけます
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づ く教育内容(実務経験のある教員による授業科 目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	岡村 真由美/高等学校教諭としての経験を有している。/本科目については、入試において一定の成 績を収めていない学生又は、高等学校の普通科以外の学科の卒業生を主に対象に実施する科目である 。本講師はこれまでの学校現場における教員経験を活かし、高校6年間程度の英語に関するリメデ ィアル授業を指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション(授業の進め方について) ・基礎力判断テスト(指導の参考にします) ・Today's Reading 1(プリントを用いて) ・単語&文法事項の確認(テキストを用いて) 動詞と時制
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト(授業の進め方について前時学習内容の確認) ・Today's Reading 2 ・単語&文法事項の確認 助動詞
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 3 ・単語&文法事項の確認 受動態
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 4 ・単語&文法事項の確認 不定詞
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 5 ・単語&文法事項の確認 動名詞
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 6 ・単語&文法事項の確認 分子
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 7 ・単語&文法事項の確認 前置詞
	中間試験(第1回?第7回の学習内容から出題する)
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 8 ・単語&文法事項の確認 接続詞
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 9 ・単語&文法事項の確認 関係詞
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 10 ・単語&文法事項の確認 形容詞・副詞
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 11 ・単語&文法事項の確認 比較の構文
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 12 ・単語&文法事項の確認 句
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 13 ・単語&文法事項の確認 節
	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・Today's Reading 14 ・単語&文法事項の確認 仮定法
	定期試験(第8回?第14回の学習内容から出題する)

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190588020901	科目番号 / Course code	05880209
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 22111_032		
授業科目名 / Course title	English for Specific Purposes (A) / English for Specific Purposes (A)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	a-okuda_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教養教育講義棟 B棟1階		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日 4 限目		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	TOEIC問題を教材としたリーディングとリスニングの学習を行う。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。		
授業到達目標 / Course goals	1. 必要な情報を正しく適切に聞き取り、読み取ることができる。 2. 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト : 60%、小テスト : 20%、授業への参加度 : 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	単語力をつけるため、授業外でも単語を覚えましょう。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第 1 回	オリエンテーション アンケートの実施 学習方法の説明 リスニングセクションを解き、自分の弱点を見つけ、学習方法を考える	A
第 2 回	リスニング強化(1) PART1の概要とポイント	A C
第 3 回	リスニング強化(2) PART2の概要とポイント	A C
第 4 回	リスニング強化(3) PART3の概要とポイント	A C
第 5 回	リスニング強化(4) PART3の概要とポイント	A C
第 6 回	リスニング強化(5) PART4の概要とポイント	A C
第 7 回	リスニング強化(6) PART4の概要とポイント	A C
第 8 回	リーディングセクションを解き、自分の弱点を見つけ、学習方法を考える	A C
第 9 回	リーディング強化(1) PART5の概要とポイント	A C
第 10 回	リーディング強化(2) PART5の概要とポイント	A C
第 11 回	リーディング強化(3) PART6の概要とポイント	A C
第 12 回	リーディング強化(4) PART6の概要とポイント	A C
第 13 回	リーディング強化(5) PART7の概要とポイント	A C
第 14 回	リーディング強化(6) PART7の概要とポイント	A C
第 15 回	総復習	A C

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190588021001	科目番号 / Course code	05880210
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 22111_032		
授業科目名 / Course title	English for Specific Purposes (B) / English for Specific Purposes (B)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学部対象		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月3, 火3, 木4		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	このクラスは、TOEICに特化した形での演習を徹底的に行うことにより、TOEIC形式に慣れ、得点のアップに必要なスキルを教授する。ただし、単なるTOEIC対策ではなく、将来的に英語力を絶えず伸ばせるような内容の授業を行い、学生の専門分野で役立つリスニングやリーディング力の養成も行う。		
授業到達目標 / Course goals	最初の授業で模擬のTOEICを受けてもらうが、その後受験するTOEICにて、各自100点アップできるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	15回目、16回目の模擬試験60%、小テスト20%、授業中の発表20%で行います。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	TOEIC, スキミング、スキヤニング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 (テキスト) : 最初の模擬試験の後指示します。1,800円程度の予定です。 教材 : プリント教材 必要に応じて毎回配布します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning教材(3 Step やパワーワーク)やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション TOEIC 模擬テスト リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第2回	TOEIC 模擬 テスト リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第3回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第4回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第5回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第6回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第7回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第8回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第9回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第10回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第11回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第12回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第13回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第14回	TOEIC 問題練習 リスニング練習、テキストを用いた読解練習
第15回	TOEIC模擬試験と解答
第16回	TOEIC模擬試験と解答

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/01/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588022101	科目番号 / Course code	05880221
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15811_002		
授業科目名 / Course title	社会生活における情報活用術 / Applications of ICT in Social Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 一藤 裕 / Ichifuji Yu, 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 一藤 裕 / Ichifuji Yu, 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日10:00?12:00 (事前に電子メールで教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	現代の情報社会を生き抜いていくためには、必要な情報を的確に収集・分析し、適切に加工・発信するスキルを身につけることが必要である。本科目では、情報科学科目「情報基礎」で学んだ知識と技能を発展させて、断片的な情報を統合し、それらの価値を増幅させる能力を習得させることを目的としている。 情報の可視化技法や文書作成技法などの実践的な技能を身につけるとともに、プログラミング演習により表計算ソフトの関数がどのように計算処理されているかを理解する。また、さまざまな情報を生成し消去に至る過程に着目したとき、情報セキュリティの視点からこれらの情報を適切に取り扱う方法について学習する。		
授業到達目標/Course goals	デジタル文書作成技法を理解し、整った報告書(レポート)を効率的に作成できる。 表計算技法を理解し、数値データのデータ分析に応用し、その結果をグラフ等で表現できる。 情報セキュリティの基本的な考え方や技術の概要を説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中の演習課題および授業時間外に課す予習・復習・レポートの提出状況とその内容を総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	授業で指示する。		
キーワード/Keywords	デジタル文書作成技法、表計算技法、情報セキュリティ、プログラミング		

教科書・教材・参考書/Materials	<p>【教科書・教材】 LACS上で提供する教材。</p> <p>【参考書】 [1] 高杉尚孝：『論理表現力』,日本経済新聞社,2010年6月。 [2] テクニカルコミュニケーター協会：『日本語スタイルガイド 第2版』,テクニカルコミュニケーター協会,2011年4月。 [3] 古郡延治：『論文・レポートの文章作成技法 論理の文章術』,日本エディタースクール出版部,2006年3月。 [4] 富士通エフ・オーエム株式会社：『Microsoft Office Specialist Microsoft Word 2016対策テキスト&問題集』,FOM出版,2017年3月。 [5] 富士通エフ・オーエム株式会社：『Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2016対策テキスト&問題集』,FOM出版,2017年3月。 [6] クリストファー・ハドナジー著、成田光彰訳、「ソーシャル・エンジニアリング」、日経BP社、2012年11月 [7] 情報科学科目「情報基礎」のテキスト</p>
受講要件（履修条件）/Prerequisites	<p>全回出席を原則とする。やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。授業中だけでなく、授業時間外においても、課題および予習・復習等に取り組むこと。授業には必ずノートパソコンを持参すること。初回授業より利用する。</p>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考（URL）/Remarks (URL)	<p>https://lacs.nagasaki-u.ac.jp</p>
学生へのメッセージ/Message for students	<p>本科目では、予習 授業 復習による学習サイクルを確実に実施することが欠かせない。この学習サイクルを確実に行うことで、本科目の学習内容がただ難解なコンピュータの話などではなく、私たちの生活全般にかかわる身近な事柄であることを学びとってもらいたい。</p>
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	<p>Y</p>
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>実務家教員名：丹羽量久（第1、2、5、6、9、10回） 実務経験内容： 社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。 実務経験に基づく教育内容： 顧客や社内向けの報告書を作成した経験を生かして、いかに相手に伝わるように構成するか（文章構造と論理展開および各種データの可視化）に重点を置き、講義に加えて多数の関連する演習に繰り返し取り組ませる。</p> <p>実務家教員名：上繁義史（第3、4、7、8、11、12回） 実務経験内容： 財団法人北九州産業学術推進機構、財団法人九州システム情報技術研究所にて、研究員としてIT関連技術の研究に従事 実務経験に基づく教育内容： 情報セキュリティの技術系、人間系の課題とその対策を中心に多面的な話題について講義・演習を行う。</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	<p>【ガイダンス】 この科目の概要、目的、目標、内容、進め方、評価方法について説明する。 情報科学科目「情報基礎」の授業内容に関連した復習課題を指示する。 【文書作成技法(1/2)】以下の内容を2回に分けて取り上げる。 読者に誤解が生じないように文章表現を明瞭にすることは重要である。文書作成技法の一つとして、論理展開に対応した文の接続に重点を置いて、文書構造を意識して助詞や接続詞を使い分ける方法について講義する。関連する新聞記事等を取り上げた演習により、論理展開に沿った適切な文の接続について考える。 また、一連の文書作成作業を容易にかつ効率的に作業するスキルも備えておくべきである。文書データの構造化を意識した文書作成ソフトの活用方法として、Microsoft Wordの機能（校閲機能、検索・置換等）を取り上げて、共同作業を交えながら演習課題に取り組んでいく。</p>
第2回	【文書作成技法(2/2)】
第3回	<p>【情報社会の安全を脅かす脅威の数々(1/2)】 (独)情報処理推進機構が毎年発行している「10大脅威」を題材として、ICTなどの安全な利活用を阻害する技術的な脅威の最新トレンドを学習する。</p>
第4回	【情報社会の安全を脅かす脅威の数々(2/2)】

第5回	<p>【分析のための可視化(1/2)】以下の内容を2回に分けて取り上げる。 さまざまな情報の特徴等を考察する際、それらを視覚的に表現することは理解を助けるために有効な手段である。 各回の授業では、情報の変換、グラフを用いた分析、グラフ作成の原則についての講義を行い、可視化の重要性について理解を深める。 Microsoft Excelによるグラフ(円グラフ、組み合わせグラフ、散布図等)の描画法を習得した後、与えられた課題の目的に応じて、データ群をどのように可視化するのがよいかを考える発展課題に取り組む。</p>
第6回	<p>【分析のための可視化(2/2)】</p>
第7回	<p>【情報を守る技術の基礎(1/2)】 最近利用されている代表的な情報セキュリティ技術として、暗号、デジタル署名、認証についてその技術的な手法を学ぶとともに、安全性の根拠の概要を学ぶ。</p>
第8回	<p>【情報を守る技術の基礎(2/2)】</p>
第9回	<p>【表計算技法(1/2)】以下の内容を2回に分けて取り上げる。 Microsoft Excelを使って数値データの関連性を分析する手法を学ぶ。 たとえば、「相関係数」や「単回帰分析」を取り上げて三つの方法(数式を設定、関数を利用、分析ツールを利用)により計算処理を行う。</p>
第10回	<p>【表計算技法(2/2)】</p>
第11回	<p>【ソーシャルエンジニアリングに見る人間のセキュリティ(1/2)】 人間の心理的な脆弱性を突いて、情報を入手したり、破壊したりしようとする攻撃手法「ソーシャルエンジニアリング」がどのように行われるかを学習し、攻撃から身を守るための術を考える。</p>
第12回	<p>【ソーシャルエンジニアリングに見る人間のセキュリティ(2/2)】</p>
第13回	<p>【プログラミング(1/2)】以下の内容を2回に分けて取り上げる。 Microsoft Excelで学んだ統計解析をR言語を使ってもできることを演習を通じて確認し、プログラミングへの理解を深める。</p>
第14回	<p>【プログラミング(2/2)】</p>
第15回	<p>【プログラミングの解説および復習】 授業で取り上げた関数や課題について解説を行い、プログラミング作成のための理解を深めるとともに発展課題に取り組む。</p>

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588022301	科目番号 / Course code	05880223
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15821_002		
授業科目名 / Course title	市民社会と法 / Civil Society and Law		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	家族、相続、ジェンダー、消費者、不動産、事故。社会の一員として生きるうえで誰もが関わりうるような身近な六つの分野について、法がどのように規律しており、実際の争いにおいて裁判所がどのように判断したのかなどを学ぶ。 この授業は5・6校時に連続で行うから、その連続した二校時分で一つのテーマを扱う。		
授業到達目標/Course goals	基礎的な法の概念が理解できるようになる。 法的な思考力を身につけて社会でのトラブルに対処できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 (70%) と小テスト (30%) による		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	配布プリントや参考文献を読むこと。		
キーワード/Keywords	法学入門、民法		
教科書・教材・参考書/Materials	プリントを配布し、参考文献は別途紹介する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 。アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識を関連づけるよう心がけてください。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	家族と法 1 婚姻、離婚、親子、養子など社会の最小単位ともいえる家族における法を学ぶ。
第 2 回	家族と法 2
第 3 回	相続と法 1 親が死亡した場合に残された遺産を家族でどのように分けるのか、家族財産の処遇について学ぶ。
第 4 回	相続と法 2
第 5 回	ジェンダーと法 1 生物学的性別とは異なる社会的性別をジェンダーという。家族や企業、政治など様々な社会でのジェンダーバランスについて、法はどのような役割を果たしているかについて学ぶ。
第 6 回	ジェンダーと法 2
第 7 回	復習
第 8 回	小テスト
第 9 回	消費者と法 1 私たちは誰もが消費者である。圧倒的に多くの情報をもつ企業と情報力に乏しい消費者との争いをどのように解決するのかについて学ぶ。
第 10 回	消費者と法 2
第 11 回	不動産と法 1 不動産とは土地と建物のことである。一人暮らしをしている学生は家主とマンションの賃貸借契約を結んでいるだろうし、将来的にはローンを組んで家を買うかもしれない。そのような不動産取引と法について学ぶ。
第 12 回	不動産と法 2
第 13 回	事故と法 1 他人の持ち物をうっかり壊した場合にしばしば弁償という言葉を目にする。同様に、自動車の運転免許証を取得する際には交通事故の際の損害賠償について習うだろう。これら事故を解決する法について学ぶ。
第 14 回	事故と法 2
第 15 回	総復習
第 16 回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/07/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588022501	科目番号 / Course code	05880225
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15831_002		
授業科目名 / Course title	自己表現法 / Self-Expression Methods		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12, 教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	地域教育総合支援センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2101		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>私たちは日々、自分の考えや思いを様々な表現手段を使って伝えながらコミュニケーションをとっています。</p> <p>円滑なコミュニケーションや人間関係を行うためには、これらの自分を表現する「自己表現スキル」を理解し、自由に操れることが大事です。</p> <p>心理学をもとにしたコミュニケーション論について学びながら、「話す」「聞く」「書く」といった表現力、そしてそのために必要な「考える力」を育成します。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 目的に応じた他者とのコミュニケーションをとるために、自分の表現スキルについて計画を立てることができる。</p> <p>(2) 他者を観察することで理解し、他者との比較によって自己を客観的に分析することができる。</p> <p>(3) グループの中で自分の意見や考えを主張し、チームで共修・協働しながら意見をまとめることができる。</p> <p>(4) 言語表現・非言語表現のスキルを使って、情報や自分の思いを伝えることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>授業外課題、授業内活動(グループワーク・プレゼンテーション)、レポートを合計して評価し、60点以上を合格とする。</p> <p>なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習・復習課題として作成したレポートやパワーポイント、動画などをLACSから提出してもらいます。		
キーワード / Keywords	自己表現、コミュニケーション、スピーチ、プレゼンテーション、キャリア、アカデミックスキル		
教科書・教材・参考書 / Materials	必要に応じて資料を配布する、または参考文献を提示する。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	講義中のワークに主体的に取り組む態度が身につけていること。 自分の考えをまとめ、表現しようという意欲があること。
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ / Message for students	自己表現を使ったコミュニケーションを体感するためのワークショップ型の講義です。 「もともとコミュニケーションをとること、人前に出ることは得意だ」という方はもちろん、「もしかして自分ってコミュ障？」と思っている方も歓迎です。 これからの大学生活で必要な自己表現力を身に付けることで、新しい自分の未来を切り拓いていきましょう!
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香 / 日本放送協会 (NHK) アナウンスにて報道番組のキャスター歴17年。 渦1ーセンチ代表取締役として政治家・経営者などにスピーチ指導を行う。講演・研修実績多数。/ 講演やメディア出演、インタビューなどを通して「話す」「聞く」こと、商業出版や新聞や雑誌での連載などで「書く」ことなどの自己表現活動を行っている教員が実際の事例を使いながら解説する。企業研修などで行っている訓練法を取り入れアカデミックスキルの中でも主に表現スキルの習得を目指す。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
第1回	6月12日 (水) オリエンテーション 社会に出る前に身に付けておくべき表現スキルとは?
第2回	6月12日 (水) 自己表現とは? 「私らしさ」って?
第3回	6月19日 (水) 自己理解・他者理解
第4回	6月19日 (水) 表現概論? 言語と非言語
第5回	6月26日 (水) 伝わるコミュニケーションのコツ?@
第6回	6月26日 (水) 伝わるコミュニケーションのコツ?A
第7回	7月3日 (水) 言語表現?@ 読む・書く
第8回	7月3日 (水) 言語表現?A 話す・伝える
第9回	注意 7月7日 (日) 3限 集中講義 場所: 中部講堂 プレゼンテーション実習
第10回	注意 7月7日 (日) 4限 集中講義 場所: 中部講堂 プレゼンテーション実習
第11回	注意 7月7日 (日) 5限 集中講義 場所: 中部講堂 プレゼンテーション実習
第12回	7月10日 (水) 非言語表現?@ ?表情、視線、ジェスチャー
第13回	7月10日 (水) 非言語表現?A ?距離、動作、音声表現
第14回	7月17日 (水) 聴衆の心をつかむリーダーの伝え方

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588022701	科目番号 / Course code	05880227
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15842_032		
授業科目名 / Course title	Asia and Japan in Modern and Contemporary History / Asia and Japan in Modern and Contemporary History		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	cmplrad@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @ を @ に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel	2944		
担当教員オフィスアワー / Office hours	Thu 12:00-12:50 (arrangement by e-mail is preferred)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	'This course aims to provide students with introductory information about the history of modern Okinawa. Okinawan past abounds with happenings which defy the traditional understanding of Japanese and East Asian history. The objective is, therefore, to delve into such issues and reveal the historicity of the modern state system in Asia through Okinawan local experience.		
授業到達目標 / Course goals	'1) To gain basic knowledge about Okinawa and its relations with Japan and other countries. 2) To reflect about contemporary events within their historical and socio-political context. 3) To promote one's consciousness of multiculturalism and sensitivity towards cultural differences.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Class participation 20% Report and presentation 30% Final report or exam 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	All students will have to do their reading assignments before the next class.		
キーワード / Keywords	Okinawa, Japanese modern history, politics, multiculturalism in Japanese context, Asia		
教科書・教材・参考書 / Materials	There is no textbook, but the main reference material is below: Kerr, George. Okinawa: The History of an Island People. Boston: Tuttle Publishing, 2000.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	The quota is maximum 14 students. This course will be conducted in English language but students will also have to refer to Japanese materials for translation and in their own research and preparation for classes.		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	"Be ambitious! (for the attainment of all that a man can be.)" This is a famous statement, which William J. Clark made to his Japanese students in Hokkaido in 1877.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
43481	1 Orientation 2 Ancient Ryukyus 3 Medieval Ryukyus 4 Pre-modern Japan and Okinawa 5 Formation of modern state in Asia 6 Modernization 7 Interwar Japan and Okinawa 8 Battle of Okinawa 9 Early postwar period 10 The "San Francisco System" 11 Land struggles and "normalization" 12 Movement for reversion 13 Reversion of Okinawa 14 Post-reversion Okinawa 15 Local identity in the age of globalization 16 Final exam or report

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588022801	科目番号 / Course code	05880228
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15852_032		
授業科目名 / Course title	Globalization and Health in Nagasaki / Japan / Globalization and Health in Nagasaki / Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	Everybody who wish to take this class is welcome, unless he/she has a high English proficiency to understand the classes given in English.		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hirano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	Department of Health Sciences, Faculty of Medicine		
担当教員TEL/Tel	095-819-7940		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Appointment should be made.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Nagasaki is a city that confronts the challenges to accept people ? including children, mothers, workers, aged and challenged ? of those who are in different life-circle, social settings, and health status. Such diversity of the people in Nagasaki city, in a sense, is a key to create a sustainable community, which is particularly important in the global settings. In this course, which final goal is to obtain a basic knowledge to create a healthy community in Nagasaki, a conceptual framework of eco-health, which is tolerant to physically, mentally, and socially diverse community, will be provided. Such framework will be carefully studied multi-disciplinary, and will be approached by both global and local perspectives.		
授業到達目標/Course goals	1.To explain the concept of health, family, and community in the global settings 2.To explain about diversity of the people of Nagasaki City and its implication to health of individuals 3.To write a report on social determinant of health of residents in Nagasaki.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	To be instructed through LACS e-learning system.		
キーワード/Keywords	global health, eco health, human life-circle, human life-setting		
教科書・教材・参考書/Materials	To be instructed.		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	Student has a high English proficiency to understand the classes given in English.		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	Students are welcome to join the discussion during the classes.
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
Oct 2, 5th period	1) Orientation: Workers and health issues (Hirano) (1)
Oct 2, 6th period	2) Workers and health issues (Hirano) (2)
Oct 9, 5th period	3) Children and health issues (Moji) (1)
Oct 9, 6th period	4) Children and health issues (Moji) (2)
Oct 16, 5th period	5) Elderly and health issues (Nakamura) (1)
Oct 16, 6th period	6) Elderly and health issues (Nakamura) (2)
Oct 23, 5th period	7) Group Work (1)
Oct 23, 6th period	8) Group Work (2)
Oct 30, 5th period	9) Occupational health (Hirano) (1)
Oct 30, 6th period	10) Occupational health (Hirano) (2)
Nov 6, 5th period	11) Community health (Nakamura) (1)
Nov 6, 6th period	12) Community health (Nakamura) (2)
Nov 13, 5th period	13) School health (Moji) (1)
Nov 13, 6th period	14) School health (Moji) (2)

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588022901	科目番号 / Course code	05880229
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15862_032		
授業科目名 / Course title	Sport Communication and Coaching in Touch Rugby / Sport Communication and Coaching in Touch Rugby		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	才本 明秀 / Saimoto Akihide		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	才本 明秀 / Saimoto Akihide		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	才本 明秀 / Saimoto Akihide		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	anyone can take in but number of students are limited due to safety		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	s-aki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	Solid Mechanics Lab. / Engineering bld. 4F		
担当教員TEL / Tel	2492		
担当教員オフィスアワー / Office hours	Thursday, Friday after 17:40		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	Increase of English communication skill by playing touch rugby.		
授業到達目標 / Course goals	Though playing touch rugby, an assertiveness could be cultivated.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Physical test (play) and paper test (basic knowledge of touch rugby)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	Touch rugby is one of the variant of Rugby football. In this class, Australian type touch rugby for 6 players in one team is examined.		
キーワード / Keywords	Touch rugby, pass and run, communication, coaching		
教科書・教材・参考書 / Materials	will be shown in the class		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	Class is examined at the ground (in Bunko campus)		
学生へのメッセージ / Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	guidance
2	basic skill 1 (pass and run)
3	basic skill 2 (hands up and calling)
4	basic skill 3 (selection of running course)
5	understanding the basic rule
6	evaluation of basic skill by practical game
7	positioning
8	off side and line defense
9	team meeting
10	practical game 1 (coaching)
11	practical game 2 (communication)
12	team meeting for victory
13	final league match
14	team meeting and evaluation of the team
15	paper test and exhibition match with TA

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588022901	科目番号 / Course code	05880229
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15862_032		
授業科目名 / Course title	Sport Communication and Coaching in Touch Rugby / Sport Communication and Coaching in Touch Rugby		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	才本 明秀 / Saimoto Akihide		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	才本 明秀 / Saimoto Akihide		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	才本 明秀 / Saimoto Akihide		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	制限なし		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	s-aki nagasaki-u.ac/.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	工学部1号館4F 固体力学研究室		
担当教員TEL / Tel	819-2493		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜、金曜の17:40以降		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	タッチラグビーを通して英語によるコミュニケーション能力を向上させる。迅速に、かつ、広範に、効率的に英語で意思疎通することが試合の中で求められる。また、チームとして勝利するための作戦を考え、皆で議論して実践するまでの一連の行動を英語で行うことで共同性と協調性、ランニングやパスなどのタッチラグビーのための基本スキルを身につける。		
授業到達目標 / Course goals	団体スポーツ競技においては、自ら考え、学び、主張することが勝利のために必須である。本講義では英語のみのコミュニケーションでタッチラグビーを行うことで、英語による自己主張ができるようになる。また、作戦についてチーム内で話し合い、それを実践することにより共同性や協調力を体得することができる。ラグビーのプレイヤーだけでなく、チームの特徴を分析して作戦をたてるためのブレインの存在が重要であり、身体的なハンディキャップがある学生でもチームのブレインとして講義に参加し、英語で議論することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	タッチラグビーの理解度、勝利のための作成の考案をレポートとしてまとめ提出することで成績評価する。また、チームへの貢献度をTAおよび参加者から評価してもらい、それを成績に加味する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	タッチラグビーにはいくつかのルールがある。本講義ではニュージーランドやオーストラリアで行われている6人制のタッチラグビーのルールに基づいて試合を行うのでインターネットなどでルールを確認しておくこと。		
キーワード / Keywords	Touch Rugby, Pass and Run, Communication, Coaching		
教科書・教材・参考書 / Materials	適宜紹介する		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	ラグビーはチームで行う競技である。講義を休むことになるとチームに迷惑がかかる。休まなければならない事情が生じたときは、必ず事前に通知すること。かなり長い時間ダッシュを繰り返すので、普段から運動をして体を鍛えておくこと。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は文教町のグラウンドで行います。各自着替えて集合してください。なお、雨天の場合は教養教室A棟の42教室にて英語によるチームミーティングや試合の鑑賞（英語）を行う。
学生へのメッセージ/Message for students	2019年にラグビーのワールドカップが日本で開催されます。この講義を通して少しでもラグビーを理解し、ワールドカップを楽しむとともに、ラグビーを通じて英語コミュニケーションスキルを向上させましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	ガイダンス、講義のルールの説明、チーム編成
2	基本スキル1（パスとラン）
3	基本スキル2（コーリングと簡単なサインプレー）
4	基本スキル3（ラインを前進させるためのパスとランニングコース）
5	タッチラグビーの基本ルールの理解
6	練習試合を通じた基本スキルの確認
7	リンクの役割とウイングの役割の理解、ポジショニング
8	オフサイドしないラインディフェンスの方法
9	いかにして勝利するか、チームミーティングとサインプレーの確認
10	実践によるタッチラグビースキルの向上とコーチング（1）
11	実践によるタッチラグビースキルの向上とコーチング（2）
12	反省点の集約と勝つための戦略会議
13	最終リーグ戦
14	リーグ戦の反省会とさらなる勝利を目指すための作戦会議
15	TA（大学院生チーム）との試合と講義の総括

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/07/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588023001	科目番号 / Course code	05880230
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15872_032		
授業科目名 / Course title	Contemporary Issues of Marine Ecosystems and Environment / Contemporary Issues of Marine Ecosystems and Environment		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	NISHIHARA GREGORY NAOKI / Nishihara Gregory Naoki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	NISHIHARA GREGORY NAOKI / Nishihara Gregory Naoki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	NISHIHARA GREGORY NAOKI / Nishihara Gregory Naoki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	Students interested in issues in environmental pollution and environmental protection		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	greg_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	Institute for East China Sea Research		
担当教員TEL / Tel	095-850-4588		
担当教員オフィスアワー / Office hours	One hour after class		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	We will examine issues regarding pollution in the marine environment. We will also review problems regarding environmental conservation. There will be a number of readings and reports will be used to deepen understanding in these issues.		
授業到達目標 / Course goals	The objective of this course is to become proficient in expressing and criticizing information regarding marine environmental issues and protection.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	10 Video reports (100 points each, total of 1000 points) Passing grade requires more than 600 points.		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	Handouts will be provided.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	This class is not easy, and you will require high proficiency in English.		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Issues regarding marine environmental problems and conservation
2	Issues regarding marine environmental problems and conservation
3	Issues regarding marine environmental problems and conservation
4	Issues regarding marine environmental problems and conservation
5	Issues regarding marine environmental problems and conservation
6	Issues regarding marine environmental problems and conservation
7	Issues regarding marine environmental problems and conservation
8	Final report presentation

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588023101	科目番号 / Course code	05880231
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15882_032		
授業科目名 / Course title	Nagasaki Studies / Nagasaki Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1,2,3,4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suzu-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	Building of Department of Education 6, 622		
担当教員TEL/Tel	095-819-2376		
担当教員オフィスアワー/Office hours	On Mondays, 12:20-12:40 If you need to meet with me outside my office hours, you can make an appointment.		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>This course will examine Nagasaki in terms of the latest theories in the global age, such as East-West Studies, World Literature, and World Film. With these contemporary theories, we will look at the world in and through Nagasaki and simultaneously analyze Nagasaki from multicultural and multidimensional viewpoints in the world.</p> <p>Nagasaki is the oldest cultural crossroads of the East and West in Japan. During the Toyotomi and Tokugawa periods, various cultures and epistemes of the East, especially China and Korea, and those of the West, such as the Netherlands, Portugal, Spain, Russia, the U.S.A., and the U.K., came to Nagasaki, fused there, and started to spread to other areas in Japan. On the other hand, although few take notice of it, various things that encapsulate the essence of Japaneseness went out to the world from Nagasaki. (For instance, it increasingly accepted that Gulliver's Travels originates from Japanese stories and pictures, which were exported from Nagasaki.) What impact did all this interaction have on the world and on Nagasaki? What did people see in Nagasaki (or in Japan through Nagasaki) and see in the world through Nagasaki? Contemporary novelists, including Eric Faye (France) and David Mitchell (the U.K.), often use Nagasaki as a setting for their very popular fictions, instead of New York, Paris, or Tokyo. In the global age, why did the authors choose Nagasaki for their themes and what do they see in Nagasaki? We can ask the same questions to authors of other novels, dramas, films, photos, and arts written, made, and painted in various ages and areas all over the world. On the other hand, what do readers and viewers see in the representations of Nagasaki? The answer depends on the socio-cultural background of readers and viewers. A text changes when it goes beyond the border. On another front, empathizing with the representations comes from how a problem, a tragedy, or happiness common to humanity is expressed.</p> <p>In this class, students with a diversity of cultures, traditions, and expertise will attend in order to promote understanding and peace in the global world, so let's examine Nagasaki and its various representations in the world as well as representations of the world in Nagasaki. Let's examine various representations from your own perspective and then from the latest theories, to discuss what you can empathize with and understand and what you cannot. Through the process of comparison and discussion, let's understand each other and analyze Nagasaki from the multicultural and multidimensional viewpoints.</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. Acquirement of basic knowledge of Nagasaki. 2. Ability of promote understanding and peace in the global world by examining Nagasaki and its various representations in the world as well as representations of the world in Nagasaki. 3. Ability to analyze Nagasaki from the multicultural and multidimensional viewpoints. 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	1. Presentations (40% of the final grade) 2. Research Paper. This will be a research paper of 4-5 pages in length on a topic of your choice (60% of the final grade). See "Message for students."
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Read texts and prepare for presentation
キーワード/Keywords	Nagasaki, Representation, World Literature, Dialect, Cross-cultural Understanding
教科書・教材・参考書/Materials	a collections of printouts
受講要件(履修条件) /Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	Class attendance, preparation, and participation. This aspect of the course cannot be emphasized enough. Because this is a discussion-oriented course, each class is a true joint-learning venture, the success of which depends on every member not only having completed the assigned reading for the day, but also having digested and reflected on it, and being prepared for discussion. To facilitate this, each student will prepare a typed list of questions or topics for discussion. Finally, it should go without saying that you cannot be considered a participant in class if you do not actually attend class. The choice to attend class is of course yours, but missing more than three classes without an excuse will seriously affect your final grade. Any excused absence requires written authorization from Health Services, a doctor, advisor, counselor, or administrator. Class participation will count for 20% of your final grade.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Translator
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	Some of the classes in this course are on translation studies. Words in dialect have their special connotations. Translation of dialect in English or standard Japanese changes meaning of the text. I will explain how a text written in Nagasaki dialect is prevailing as another text in the world.
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Introduction to the Course & Ice-breaking (1) What is Nagasaki? From the Viewpoint of the World-System Theory: the World-System, Marx, Empire 's Road and Modification of Cultures
2	(2) From the World to Nagasaki: "Wa-Ka-Ran" Culture, or the World Culture and Its Representation in Nagasaki: Comparison (Religion <Church & Religious Figures>, Food, Language, Fashion, Festival, Episteme)
3	Field Work
4	Field Work
5	Presentation and Discussion
6	Presentation and Discussion
7	From Nagasaki to the World: Nagasaki and Its Cultural Representation in the World Comparison of Pictures and Art
8	Linguistics of Nagasaki (Dialects) and Adaptaion in Art (The Gulliver 's Travels (Irish Novel): Nagasaki in The Gulliver 's Travels.)
9	Presentation and Discussion
10	Presentation and Discussion Christianity in Nagasaki and its Representation in Film with Adaptation: Theory
11	Field Work

12	Field Work
13	Endo Shusaku ' s Silence (Translation Studies and Film Studies)
14	Mapping of Texts:Theory, Mapping of Kazuo Ishiguro ' s A Pale View of Hills and Eric Faye ' s Nagasaki
15	Presentation and Discussion Conclusion: Again, What Is Nagasaki?

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/01/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588023201	科目番号 / Course code	05880232
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15892_032		
授業科目名 / Course title	Toward a Nuclear Weapon Free-World / Toward a Nuclear Weapon Free-World		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1, 2, 3, 4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakamurak_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	2nd floor, Research Center for Nuclear Weapons Abolition, Nagasaki University (RECNA)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2865		
担当教員オフィスアワー/Office hours	by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	This course is designed to introduce participants to the challenges in facing a world affected by the existence of approximately 15,000 nuclear weapons, and the proliferation of their related materials and technology.		
授業到達目標/Course goals	Overall, this course will not only facilitate students to gain a greater understanding of the various issues related to nuclear weapons, but also help students construct their own ideas and opinions for a better future, and build confidence to express and share these ideas with their peers.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	1) Class attendance, preparation, and participation in discussion (60%) 2) Final report (40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	Preparation includes reading related news articles and presenting t in class.		
キーワード / Keywords	nuclear weapons, nuclear disarmament, nuclear non-proliferation, nuclear energy, peace and disarmament education		
教科書・教材・参考書 / Materials	Not required (printed materials may be distributed in class)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	N/A		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 。アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	The working language in the classroom is English and at least a moderate English proficiency is required.		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	中村 桂子/核兵器廃絶研究分野、特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長の実務経験を有 する/特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長として、核軍縮・不拡散問題に取り組んでい た実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識を、英語で教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
	Introduction to the Course
	Basic Introduction of Nuclear Weapons I: Beginning of Nuclear Age
	Basic Introduction of Nuclear Weapons II: Current status of nuclear world
	Nuclear testing I
	Nuclear testing II
	The Cold War Era and Nuclear Arms Race
	Beyond the Cold War: Risk of Proliferation
	Nuclear Weapons from Regional Perspectives
	Peaceful Use of Nuclear Energy and Nuclear Non-proliferation
	Japanese Nuclear Policy
	Nuclear Weapon-Free Zones
	States that Chose a Non-Nuclear Policy
	Role of Civil Society I
	Role of Civil Society II
	Conclusion

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/01/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588023701	科目番号 / Course code	05880237
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15902_032		
授業科目名 / Course title	Development Cooperation and Global Health / Development Cooperation and Global Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	菊地 太郎 / Taro Kikuchi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	菊地 太郎 / Taro Kikuchi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	菊地 太郎 / Taro Kikuchi		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	All grades from all of schools and faculties		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	taro-kikuchi nagasaki-u.ac.jp (When you e-mail me, please replace with .)		
担当教員研究室/Office	Room No.507, 5th Floor, Global Health General Research Building, SAKAMOTO Campus		
担当教員TEL/Tel	095-819-7895		
担当教員オフィスアワー/Office hours	09:30-17:45(Advanced notice is required at taro-kikuchi nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Various knowledge and expertise about economic and social development are required for those who wish to engage in global health cooperation. These knowledge are not limited to health and medical fields but includes broader spectrum of social sciences such as history of development assistance, mechanism of public policy, legal system, etc. They also help students in understanding the international affairs, in particular, those occurring in the developing countries. In this module, history on international development assistance and development cooperation by the Government of Japan as Official Development Assistance (ODA), and key fundamental principles around development cooperation especially in health sector will be offered for students to take a first step in thinking about international cooperation with emphasis on health development in the global society.		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・ Students become able to shape their own consideration on future direction of development assistance especially in the health sector which are implemented by such public actors as the government, incorporated administrative agencies and UN agencies through understanding actual condition of the assistance in a multifaceted way. ・ Students become able to distinguish the concept from the contents in the topics, subjects, and key words in the development assistance and global health. ・ Students become able to describe roles and activities of stakeholders and actors engaged in development assistance and international health cooperation. 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Active participation in the class (20 points)+Reports as qualified by the lecturer (30 points)+Result of final examination (50 points)=100 points. Points of 60 and over out of a score of 100 are regarded eligible for the credit.		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	Submission of reports containing the student's own way of thinking about lecture contents explained in the class. Shaping the student's consideration through prior notice of specific topic(s) to be discussed in the following class.		
キーワード / Keywords	Development Assistance, International Cooperation, Global Health		

教科書・教材・参考書/Materials	There is no specific textbook used in this subject. Lectures are given using visual aids such as slides and videos. Students are sometimes advised to read official documents of governments and development partners as well as research papers if necessary in the class.
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	Students who are on enrollment
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	Agenda of this course might not be generally familiar to students. But I hope the enrolled students come to feel close to development cooperation in global health throughout the period. A good command of English will be needed to keep up with this course.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	Professor in charge; Mr.Taro KIKUCHI He used to be engaged in Japan's Official Development Assistance (ODA), especially, in coordination of the development policy by initiating the surveys and running the management of Japan's health and medical ODA operations which were implemented in Asia and Africa through the close partnerships with ministries such as the Ministry of Foreign Affairs, the Ministry of Health, Labor and Welfare, and the Ministry of Finance, public institutions including the National Center of Global Medicine and National Institute of Infectious Diseases. The professor also cooperated with international organizations such as UN agencies and development financial institutions for putting Japan's global health policy into practice at the field level. Global health requires students to think about people's health with a worldwide perspective. In this module, the students are expected to address economic and social development issues which are necessary for promoting global health at the level of development assistance, and the Sustainable Development Goals(SDGs) which was set as a common goal of the international community.
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st(27 Nov.16:10-17:40)	Introduction of Development Cooperation -What is ODA? -How is the situation around ODA in the world? -Understand what developing countries are.
2nd(27 Nov.17:50-19:20)	Works and Jobs in the Development Cooperation -How do you engage yourselves in international cooperation and development assistance? -International cooperation activities in which you privately participate
3rd(4 Dec.16:10-17:40)	Development Cooperation and Japan's ODA System -How is the relationship between Japan and developing countries? -Why do we provide assistance ? Japan as a recipient country? -Start of Japan's ODA
4th(4 Dec.17:50-19:20)	Development Cooperation and Japan's ODA System 2 -Japan's ODA policy, budget framework -Situation and characteristics of Japan's ODA -Cooperation modalities of Japan's ODA and the examples
5th(11 Dec.16:10-17:40)	History and Current Development Cooperation -Postwar reconstruction and development -Expansion of international aid with growing economy in the world -Limit of economic development and new way about international aid
6th(11 Dec.17:50-19:20)	History and Current Development Cooperation 2 -A new world order after the cold war -Increasing recognition of global issues (environment, HIV/AIDS) -Shift from nation-based economic development to individual-centered social development
7th(18 Dec.16:10-17:40)	Partnership for Development Cooperation -Increase of development finance -Partnership for effective development assistance -Emergence of new donors and aid actors
8th(18 Dec.17:50-19:20)	Introduction of Global Issues -International agreement on the Sustainable Development Goals(SDGs) -Global response to population problems (population explosion in developing countries, population decrease and aging in developed countries) -Preparation for group work
9th(8 Jan.16:10-17:40)	Group Work "Global Issue" -Discuss and make presentation of population problem(s) in a country

10th(8 Jan.17:50-19:20)	Japan's Experiences on Health Development -Healthcare administration in Japan -Maternal and child health improvement in Japan (Maternal and Child Health Handbook) -Efficiency improvement of medical service in Japan (Improvement of Working Environment)
11th(15 Jan.16:10-17:40)	Japan's Global Health Policy -Response to infectious diseases (HIV/AIDS, tuberculosis, malaria) -Maternal, newborn, infant health -Sustainable delivery of quality medical services (National Health Insurance)
12th(15 Jan.17:50-19:20)	Global Health Harmonization -Concerted international health and medical cooperation in developing countries
13th(22 Jan.16:10-17:40)	Various topics in Global Health -Lifestyle-related diseases such as cancer and cardiovascular diseases (Non-Communicable Diseases) -Emerging infectious diseases such as Ebola Hemorrhagic Fever
14th(22 Jan.17:50-19:20)	Collaboration with Stakeholders in Health Sector -Cooperation with private companies and new actors (foundations, etc.) for drug and vaccine development
15th(29 Jan.16:10-17:40)	Future Direction in Development Cooperation and Global Health -Reflect on past classes and discuss how we go with international development and improvement of people's health.
16th(29 Jan.17:50-18:40)	Final Examination(50 minutes)

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/01/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588023701	科目番号 / Course code	05880237
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15902_032		
授業科目名 / Course title	Development Cooperation and Global Health / Development Cooperation and Global Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	菊地 太郎 / Taro Kikuchi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	菊地 太郎 / Taro Kikuchi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	菊地 太郎 / Taro Kikuchi		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学部、全学年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	菊地太郎 taro-kikuchi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してく ださい)		
担当教員研究室/Office	グローバルヘルス総合研究棟 5 階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7895		
担当教員オフィスアワー/Office hours	9時-17時 (事前の appointments が望ましい)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	地球規模の保健課題の解決に従事するには経済社会開発における多様な知識が要求される。これら の知識は保健や医療に限らず、開発援助の歴史、公共政策の仕組み、法規制等の社会科学も含めた 幅広いものであり、その知識は学生が世界、特に開発途上国で発生する国際的な問題を理解する一 助となる。 この科目では、日本の政府開発援助(ODA)による開発協力概要、一般的な開発援助の歴史に加え、 保健医療分野の開発協力における重要な原則を学生に示すとともに、学生が国際援助や保健医療協 力を考察する第一歩となる知識を教授する。		
授業到達目標/Course goals	学生自ら多様な公的アクター(政府、開発機構、国連機関)による開発援助、国際保健医療協力に おいて、世界の現状を多角的に理解した上で、将来の方向性を具体的に検討できるようになる。 学生自ら開発援助、国際保健における重要事項、議題、キーワードの内容から、その概要を区別 して理解できるようになる。 学生自ら開発援助、国際保健に関与するアクターや関係機関の活動や役割を説明できるようにな る。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義後に課される課題レポート、授業への貢献、最終査考結果		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習、講義への参加や対話、更に講義後に課す課題へ取り組むことで学習する。政府、開発パート ナー機関の政策文書やデータも情報源として活用される。		
キーワード/Keywords	開発援助、国際協力、グローバルヘルス		
教科書・教材・参考書/Materials	授業中に適宜指示する		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	一般的には学生にとってあまり馴染みのない分野かもしれませんが、授業を通じて国際保健分野の開発協力を身近に感じることができます。授業内容を理解するには十分な英語スキルが必要になります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	菊地太郎 / 日本の政府開発援助(ODA)において、途上国(特にアフリカ)の開発政策策定に係る調整、アジア及びアフリカで実施する保健医療ODAの計画調査及び管理に従事するとともに、政府関係省庁(例;外務省、厚生労働省、財務省)、関係公的機関(例;国立国際医療研究センター、国立感染症研究所)等との連携を通じた日本の国際保健外交に関しても、国連機関や開発金融機関等と協調しながら、その実践に協力してきた / 地球規模の視点で人々の健康を考えるグローバルヘルスの推進に必要な経済・社会開発上の課題解決に取り組み、国際社会の共通目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成を、保健医療分野の開発援助の面から学習する
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(11/27 16:10-17:40)	開発協力の紹介 【ポイント】 政府開発援助(ODA)とは? 世界のODAの状況は? 開発途上国を知る
第2回(11/27 17:50-19:20)	開発協力の分野で働くには 【ポイント】 国際協力/開発援助の仕事 仕事以外で参加する国際協力
第3回(12/4 16:10-17:40)	開発協力と日本のODA(1) 【ポイント】 日本と開発途上国との関係は? 何故援助するのか-援助受取国としての日本 日本のODAの開始
第4回(12/4 17:50-19:20)	開発協力と日本のODA(2) 【ポイント】 日本のODAの政策、予算枠組み 日本のODAの状況と特徴 日本のODAの協力方式とその事例
第5回(12/11 16:10-17:40)	開発協力の歴史と現在(1) 【ポイント】 世界の戦後復興と開発 経済成長に伴う国際援助拡大 経済開発の限界と新たな国際援助
第6回(12/11 17:50-19:20)	開発協力の歴史と現在(2) 【ポイント】 冷戦崩壊後の新たな国際秩序 地球規模課題の認識(環境、エイズ) 国の経済開発から個人の社会開発へ
第7回(12/18 16:10-17:40)	開発協力におけるパートナーシップ 【ポイント】 開発資金の増大 効果的な援助のためのパートナーシップ 新たな援助国、援助実施機関の出現
第8回(12/18 17:50-19:20)	地球規模課題の紹介 【ポイント】 持続可能な開発目標(SDGs)の国際的合意 人口問題(途上国での人口爆発、先進国での高齢化/人口減少)への対応 グループワークの準備
第9回(1/8 16:10-17:40)	グループワーク「地球規模課題」 【ポイント】 ある国での人口問題を考察し、発表する
第10回(1/8 17:50-19:20)	日本の保健医療開発の経験 【ポイント】 日本の保健医療行政 日本の母子健康改善(母子健康手帳) 日本の医療サービス効率化(業務環境改善)

第11回(1/15 16:10-17:40)	日本の国際保健政策 【ポイント】 感染症(HIV/エイズ、結核、マラリア)への対応 妊産婦、新生児、乳幼児の健康 質の高い医療サービスの持続的な提供(国民健康保険)
第12回(1/15 17:50-19:20)	国際保健における調和化 【ポイント】 開発途上国における協調した保健医療協力
第13回(1/22 16:10-17:40)	国際保健における様々なトピック 【ポイント】 がん、心臓病等の生活習慣病(非感染性疾患) エボラ出血熱等の新しい感染症
第14回(1/22 17:50-19:20)	保健医療分野における関係機関との連携 【ポイント】 薬剤やワクチン開発のための民間企業や新しいパートナー(財団等)との連携
第15回(1/29 16:10-17:40)	国際保健における開発協力の方向性 【ポイント】 授業を振り返り、国際協力と世界の人々の健康改善について考える
第16回(1/29 17:50-18:40)	最終考査(50分)

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/01/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588024001	科目番号 / Course code	05880240
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15932_032		
授業科目名 / Course title	Nagasaki Studies / Nagasaki Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1,2,3,4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suzu-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	Building of Department of Education 6, 622		
担当教員TEL/Tel	095-819-2376		
担当教員オフィスアワー/Office hours	On Mondays, 12:20-12:40 If you need to meet with me outside my office hours, you can make an appointment.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>Authors in the world write Nagasaki as a setting for their novels. Why are they interested in Nagasaki, instead of a more international city of Japan, such as Tokyo, Kyoto, or Osaka? The authors living in the global era must think much of Nagasaki as a suitable place for works that are translatable across the gaps of social and cultural differences in societies in the global era.</p> <p>This course will examine Nagasaki by reading contemporary novels by Eric Faye, David Mitchell, and Kazuo Ishiguro, mapping the texts, identifying the models of restaurants, companies, houses, and places in the fictions by fieldwork.</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. Acquisition of basic knowledge of Nagasaki. 2. Ability of promote understanding and peace in the global world by examining Nagasaki and its various representations in the world. 3. Ability to analyze Nagasaki from the multicultural and multidimensional viewpoints. 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<ol style="list-style-type: none"> 1. Presentations (40% of the final grade) 2. Research Paper. This will be a research paper of 4-5 pages in length on a topic of your choice (60% of the final grade). See "Message for students." 		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	Read texts and prepare for presentation		
キーワード / Keywords	Dejima, Nagasaki, Representation, World Literature, Cross-cultural Understanding		
教科書・教材・参考書 / Materials	Text: Print-out.		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	Class attendance, preparation, and participation. This aspect of the course cannot be emphasized enough. Because this is a discussion-oriented course, each class is a true joint-learning venture, the success of which depends on every member not only having completed the assigned reading for the day, but also having digested and reflected on it, and being prepared for discussion. To facilitate this, each student will prepare a typed list of questions or topics for discussion. Finally, it should go without saying that you cannot be considered a participant in class if you do not actually attend class. The choice to attend class is of course yours, but missing more than three classes without an excuse will seriously affect your final grade. Any excused absence requires written authorization from Health Services, a doctor, advisor, counselor, or administrator. Class participation will count for 20% of your final grade.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木 章能/翻訳業。かつて株式会社イデア出版の雑誌、およびウェブページ翻訳、ならびにのロンドン・Direct Image Marketing & Communications Ltd.の文芸雑誌翻訳をしていた。現在は両社の仕事はしていないが、翻訳書を定期的に出版している。/翻訳は語源や語用、文体、社会的・文化的・時代的背景、書物に書かれた内容に関する専門知識等、多角的な知識をもって行うことである。これらをもって英語の真の意味と感覚を理解することができる。こうした翻訳の方法と経験のうち基本的技術や方法を、英語の深く正確な意味を理解できる方法として適宜学生に説明・伝授して教育している。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) /Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Introduction to the Course & Ice-breaking Reading Faye's Nagasaki (the part of the protagonist's home): Where is his home?
2	Reading Faye's Nagasaki with Google Maps (the part of the protagonist's home): Where is his home?
3	Fieldwork
4	Fieldwork and identifying the model of the home.
5	Reading Ishiguro's The Pale Views of the Hills (the part of the station, Noodle restaurant, and the routes)
6	Reading Ishiguro's The Pale Views of the Hills (the part of the station, Noodle restaurant, and the routes): Where is the noodle restaurant and Ishiguro's house?
7	Field Work
8	Field Work and identifying the model of the station, noodle restaurant and Ishiguro's house.
9	Reading David Mitchell's The Thousand Autumns of Jacob de Zoet (the part of the Dejima and bridges)
10	Reading David Mitchell's The Thousand Autumns of Jacob de Zoet (the part of the Dejima and bridges): Where is Zoet's room?
11	Fieldwork
12	Fieldwork and identifying Zoet's room and the bridges.
13	Reading Ku Hyoso's Nagasaki Papa (the part of the restaurant, Father's company, and the area of Nagasaki station)
14	Reading Ku Hyoso's Nagasaki Papa (the part of the restaurant, Father's company, and the area of Nagasaki station)
15	Fieldwork and conclusion of Nagasaki in the world of today.

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/01/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588024001	科目番号 / Course code	05880240
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15932_032		
授業科目名 / Course title	Nagasaki Studies / Nagasaki Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1,2,3,4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suzu-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	Building of Department of Education 6, 622		
担当教員TEL/Tel	095-819-2376		
担当教員オフィスアワー/Office hours	On Mondays, 12:20-12:40 If you need to meet with me outside my office hours, you can make an appointment.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>Authors in the world write Nagasaki as a setting for their novels. Why are they interested in Nagasaki, instead of a more international city of Japan, such as Tokyo, Kyoto, or Osaka? The authors living in the global era must think much of Nagasaki as a suitable place for works that are translatable across the gaps of social and cultural differences in societies in the global era.</p> <p>This course will examine Nagasaki by reading contemporary novels by ?ric Faye, David Mitchell, and Kazuo Ishiguro, mapping the texts, identifying the models of restaurants, companies, houses, and places in the fictions by fieldwork.</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. Acquirement of basic knowledge of Nagasaki. 2. Ability of promote understanding and peace in the global world by examining Nagasaki and its various representations in the world. 3. Ability to analyze Nagasaki from the multicultural and multidimensional viewpoints. 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<ol style="list-style-type: none"> 1. Presentations (40% of the final grade) 2. Research Paper. This will be a research paper of 4-5 pages in length on a topic of your choice (60% of the final grade). See "Message for students." 		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	Read texts and prepare for presentation		
キーワード / Keywords	Dejima, Nagasaki, Representation, World Literature, Cross-cultural Understanding		
教科書・教材・参考書 / Materials	Text: Print-out.		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	Class attendance, preparation, and participation. This aspect of the course cannot be emphasized enough. Because this is a discussion-oriented course, each class is a true joint-learning venture, the success of which depends on every member not only having completed the assigned reading for the day, but also having digested and reflected on it, and being prepared for discussion. To facilitate this, each student will prepare a typed list of questions or topics for discussion. Finally, it should go without saying that you cannot be considered a participant in class if you do not actually attend class. The choice to attend class is of course yours, but missing more than three classes without an excuse will seriously affect your final grade. Any excused absence requires written authorization from Health Services, a doctor, advisor, counselor, or administrator. Class participation will count for 20% of your final grade.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木 章能/翻訳業。かつて株式会社イデア出版の雑誌、およびウェブページ翻訳、ならびにのロンドン・Direct Image Marketing & Communications Ltd.の文芸雑誌翻訳をしていた。現在は両社の仕事はしていないが、翻訳書を定期的に出版している。/翻訳は語源や語用、文体、社会的・文化的・時代的背景、書物に書かれた内容に関する専門知識等、多角的な知識をもって行うことである。これらをもって英語の真の意味と感覚を理解することができる。こうした翻訳の方法と経験のうち基本的技術や方法を、英語の深く正確な意味を理解できる方法として適宜学生に説明・伝授して教育している。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) /Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Introduction to the Course & Ice-breaking Reading Faye's Nagasaki (the part of the protagonist's home): Where is his home?
2	Reading Faye's Nagasaki with Google Maps (the part of the protagonist's home): Where is his home?
3	Fieldwork
4	Fieldwork and identifying the model of the home.
5	Reading Ishiguro's The Pale Views of the Hills (the part of the station, Noodle restaurant, and the routes)
6	Reading Ishiguro's The Pale Views of the Hills (the part of the station, Noodle restaurant, and the routes): Where is the noodle restaurant and Ishiguro's house?
7	Field Work
8	Field Work and identifying the model of the station, noodle restaurant and Ishiguro's house.
9	Reading David Mitchell's The Thousand Autumns of Jacob de Zoet (the part of the Dejima and bridges)
10	Reading David Mitchell's The Thousand Autumns of Jacob de Zoet (the part of the Dejima and bridges): Where is Zoet's room?
11	Fieldwork
12	Fieldwork and identifying Zoet's room and the bridges.
13	Reading Ku Hyoso's Nagasaki Papa (the part of the restaurant, Father's company, and the area of Nagasaki station)
14	Reading Ku Hyoso's Nagasaki Papa (the part of the restaurant, Father's company, and the area of Nagasaki station)
15	Fieldwork and conclusion of Nagasaki in the world of today.

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588024601	科目番号 / Course code	05880246
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15941_002		
授業科目名 / Course title	開発協力論 / Development Cooperation		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小松 悟 / Satoru Komatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	小松 悟 / Satoru Komatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	小松 悟 / Satoru Komatsu		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	skomatsu (at) nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	総合教育研究棟		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時。メールにて事前問い合わせが必要。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	何故ある国は順調に発展し、ある国は停滞し続けるのでしょうか。これまで国際社会は、貧困や飢餓・農村開発・経済格差といった様々な開発課題に対処するため多大な努力を払ってきましたが、未だに多くの課題が残されています。同時に、現代の開発課題は気候変動問題のような地球規模の課題とも関連しているため、開発課題に取り組む際には一国だけではなく、グローバルな視野で、先進国・発展途上国の双方が協調して取り組む必要があります。本講義では、開発課題の現況について把握し、問題の背景となるメカニズムを分析するとともに、解決に向けたアプローチを提示することを目指します。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・経済発展の潮流や、開発課題、持続可能な開発に関する知識を身につけることができる。 ・現代社会の課題として国際開発をとらえ、自らの考える望ましい社会を提示することができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末試験40%、その他課題(レポート、プレゼンテーション等)60%による総合評価を行います。その他課題として、授業後に提出するコメントシートの評価を含みます。欠席回数が6回以上の者は、成績評価の対象としない。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	講義中に指示します。		
キーワード / Keywords	発展途上国、貧困、国際協力、持続可能な開発		
教科書・教材・参考書 / Materials	<ul style="list-style-type: none"> ・黒崎卓、栗田匡相「ストーリーで学ぶ開発経済学 途上国の暮らしを考える」、有斐閣、2016年。 ・黒崎卓、山形辰史「開発経済学 貧困削減へのアプローチ」日本評論社、2003年 ・戸堂康之「開発経済学入門」新世社、2015年 ・高木保興、河合明宣「途上国を考える」、放送大学教育振興会、2014年。 		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	発展途上国の諸課題について幅広く理解し、自分なら何かができるのかを考えてもらいたいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション 発展途上国の抱える諸問題を考えます。
第2回	発展途上国の状況 発展途上国の定義と置かれた状況を考えます。
第3回	貧困と不平等 貧困の概念や、貧困・不平等を定量的に計測するための指標を議論します。
第4回	農業 途上国農業の低生産性、小作制度について議論します。
第5回	農村信用市場 マイクロファイナンスなど、途上国金融の現状と課題を議論します。
第6回	教育開発 持続可能な開発を支える人的資源開発の重要性と、成長に向けた教育投資を考えます。
第7回	健康 衛生環境や伝染病の蔓延の課題、病院や診療体制の問題を考えます。
第8回	中間まとめ 前半部分の内容の確認
第9回	水資源と水供給 水資源の課題を概括し、安全な水へのアクセスの重要性を議論します。
第10回	経済成長と工業化 経済成長に関する指標や、経済成長のメカニズムを議論します。
第11回	都市化と都市貧困層 農村からの人口流入や、スラムをはじめとした都市貧困層の課題を議論します。
第12回	国際開発の現状 貧困削減や飢餓の根絶といった国際開発における課題を整理するとともに、ミレニアム開発目標(MDGs)の成果と持続可能な開発目標(SDGs)の進捗状況を議論します。
第13回	開発援助(1) 開発援助の定義や近年の潮流、日本(JICA)や国際機関による途上国支援の現状を考察します。
第14回	開発援助(2) NGOや企業による開発への貢献を含めた、貧困層への効果的な開発協力の形を考えます。
第15回	途上国開発の将来、最終まとめ 途上国開発の将来を考えるとともに、後半部分の内容を確認します。

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588024701	科目番号 / Course code	05880247
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15951_002		
授業科目名 / Course title	研究倫理とコンプライアンス / Research Ethics and Compliance		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	河合 孝尚, 岡林 浩嗣 / Okabayashi Kouji, 藤原 雄介 / Fujiwara Yuusuke, 佐藤 俊太郎 / Sato Shiyuntaro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	河合 孝尚		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	河合 孝尚, 岡林 浩嗣 / Okabayashi Kouji, 藤原 雄介 / Fujiwara Yuusuke, 佐藤 俊太郎 / Sato Shiyuntaro		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ta-kun0228@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	Office for Research Initiative and Development 2nd Floor Risk Management Division		
担当教員TEL/Tel	-3783		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Visitation : Wednesday 10:00~16:00 E-mail : ta-kun0228@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>The purpose of this class is to acquire the knowledge of legal compliance that needs for the activity at university, and to improve the general ethic while students should develop.</p> <p>In recent years, it requires to observe several kinds of laws and rules through the education and research at university, and it is also increasing that researchers and students are held responsible. Under existing circumstances, it is necessary that acquirement of the knowledge of legal compliance and improvement of the general ethic at early stage for the students who will be a researcher study at academic institution such university or a member of society who will become part of social in general public. In this class, it aims to gain necessary knowledge and proper judgment ability to be human resources who is able to fairly judge and do social activities in the future, by learning research ethic, security trade control and intellectual property law that are important through the academic activity.</p> <p>Scheduled specific class content is following;</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Orientation ・ Security export control ・ Convention on Biological Diversity(CBD) ・ Intellectual property Law and Copyright Law ・ Statistics ・ Research ethics (classroom lecture) ・ Research ethic (group work and presentation) 		
授業到達目標/Course goals	By acquiring the knowledge of legal compliance that needs for activity at university and general ethics while students should develop, it will be capable of judging properly and fairly at any situation such as academic activity from now and works as a member of society in the future.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	review task (25 points) + presentation (45 points) + report (25 points) + class participation (5 points) = 100 points Passing point is above 60points.
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	You need to take part in the e-learning "eLCoRE" of Japan Society for the Promotion of Science, and submit its certificate, as review task of research ethic (classroom lecture).
キーワード/Keywords	Research ethics, Security export control, Biodiversity, Intellectual property, Copyright, Statistics
教科書・教材・参考書/Materials	Reference book : For the Sound Development of Science -The Attitude of a Conscientious Scientist-, Japan Society for the Promotion of Science, Maruzen Publishing.
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	This class name is "Research ethics and Legal Compliance" that sounds difficult, but the content of class aims to develop the necessary knowledge and judgment that you should know when you become a member of society or researcher. You can take lectures directly from specialists within and without Nagasaki university, and have opportunity to grow yourself and spread your possibility through the group work. So please join this class.
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	Takahisa Kawai / who will teach the knowledge of legal compliance and research ethic with work experience of following contents. Risk management at Nagasaki university that related to security trade control or researches with ABS Legal compliance of Security trade control and Convention on Biological Diversity(CBD). Yusuke Fujiwara / who has work experience about intellectual property control at Nagasaki university, will explain about the Intellectual Property Law and Copyright Law.
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
No.1 (10th April)	"Orientation" about this class will be held. The composition, purpose and the achievement goal will be explained.
No.2 (17th April)	It will be the lecture about "Relation between Research misconduct and statistics". It will present the outline of specific misconduct (falsification, fabrication, plagiarism) and suspected research study, and explain how those are related with statistics.
No.3 (17th April)	It will be the lecture about "handling the research data not to be research misconduct". It will be explained following context. Data collection/ Data handling / how to express the connection with things (screening) / the differences between correlation and causal correlation.
No.4 (24th April)	It will be the lecture about "World trends on security export control". Lecture on the situation of each country concerning security and the importance and necessity of security export control.
No.5 (24th April)	It will be the lecture about "Research activities and security export control". Describe practical procedures such as involvement of various activities at the university and relationships of security export control and explanations on regulated cargo and technology.
No.6 (8th May)	It will be the lecture about "What is biodiversity?". Lecture on the history of the establishment of the Convention on Biological Diversity and the sustainability of biological resources.
No.7 (8th May)	It will be the lecture about "Research activities and Nagoya Protocol". About the Nagoya Protocol enacted in 2011, explain the handling of overseas genetic resources, etc., and explain the necessary procedures and points of attention in research activities.
No.8 (15th May)	It will be the lecture about "Rule of intellectual property (Copyright law)". We lecture briefly the copyright rules that students want to know at the time of report creation.

No.9 (15th May)	It will be the lecture about "Rule of intellectual property (Patent rights etc.)". Briefly lecture on the foundation of intellectual property that students want to know before starting research activities.
No.10 (22th May)	It will be the lecture about "What is research fairness". Understand the basic concepts of research ethics and research fairness and the definitions and rules of specific misconduct (falsification, fabrication, plagiarism). In addition to commentary on concrete research fraud cases etc., students learn about various problems in realizing fair research activities.
No.11 (22th May)	It will be the lecture about "Ethics of researchers and reliability of science". Think about the structure of various research fair problems including specific misconduct. Also, exemplify various problems related to research fraud and data management, and discuss how researchers understand the science's reliability and what should be secured.
No.12 (29th May)	"Group work on research ethics" will be held. Divide class participants into several groups, set themes on research ethics in each group, and discuss thought using knowledge learned about theme explanation and research fraud prevention measures.
No.13 (29th May)	"Group work on research ethics" will continue to held.
No.14 (5th June)	"Group work presentation" will be held. Present the results of each group work.
No.15 (5th June)	It will be the lecture about "Summary of class". Summarize as a review of what you learned in this class. I will be the lecture on how to help future activities at university and activities after becoming a social worker etc.

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588024701	科目番号 / Course code	05880247
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15951_002		
授業科目名 / Course title	研究倫理とコンプライアンス / Research Ethics and Compliance		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	河合 孝尚, 岡林 浩嗣 / Okabayashi Kouji, 藤原 雄介 / Fujiwara Yuusuke, 佐藤 俊太郎 / Sato Shiyuntaro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	河合 孝尚		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	河合 孝尚, 岡林 浩嗣 / Okabayashi Kouji, 藤原 雄介 / Fujiwara Yuusuke, 佐藤 俊太郎 / Sato Shiyuntaro		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ta-kun0228 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構棟2階リスクマネジメント部門室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2950		
担当教員オフィスアワー/Office hours	面会の場合: 水曜日 10:00~16:00 E-mailの場合: ta-kun0228@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本授業では、大学での活動に必要なコンプライアンス（法令遵守）の知識の習得や、学生時に養っておくべき一般的な倫理観を醸成することを目的としている。</p> <p>近年、大学における教育・研究活動において様々な法律や規範などを遵守することが求められており、研究者や学生自身にも社会的責任を問われることも多くなってきた。このような現状において、将来、大学等の学術機関で活動する研究者もしくは一般社会の一翼を担う社会人になる学生を対象に、コンプライアンスに関する知識の習得や一般的な倫理観を醸成しておくことは早い段階から必要である。</p> <p>本授業では、大学での活動において重要な研究倫理や、安全保障輸出管理、知的財産法などの法律を学ぶことにより、将来、研究者や一般社会人になっても公正な判断や社会活動ができる人材となるよう、そのために必要な知識や適切な判断力を習得することを目指すものである。</p> <p>具体的な授業内容は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・安全保障輸出管理について ・生物多様性条約について ・知的財産法及び著作権法について ・統計学について ・研究倫理（座学） ・研究倫理（グループワーク及び発表） <p>を予定している。</p>		
授業到達目標/Course goals	大学での活動に必要なコンプライアンス（法令遵守）の知識の習得や、学生時に養っておくべき一般的な倫理観を身に付けることで、大学でのこれからの活動や社会人となって働く時など、あらゆる場面において適性かつ公正な判断ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	復習課題（25点）+ プレゼンテーション課題（45点）+ レポート課題（25点）+ 授業への取組み（5点）= 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	研究倫理（座学）の事後学習（復習課題）として、日本学術振興会の研究倫理eラーニング「eL CoRE」を受講し、修了証書の提出を求めます。		

キーワード/Keywords	研究倫理、安全保障輸出管理、生物多様性、知的財産、著作権、統計
教科書・教材・参考書/Materials	参考書：日本学術振興会「科学の健全な発展のために?誠実な科学者の心得?」（丸善出版）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	本授業は「研究倫理とコンプライアンス」といういかにも難しそうな授業名ですが、授業の中身は学生のみなさんが社会人になっても研究者になっても覚えておくべき必要な知識や判断力を養うことを目標としています。 学内外の専門家から直接お話を聞くことができ、グループワークも織り交ぜながら自分自身の成長や可能性を広げるまたとない機会となっていますので是非受講してみてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	河合 孝尚/長崎大学における安全保障輸出管理やABS対応などの研究に係るリスクマネジメント業務に関する実務経験/安全保障輸出管理や生物多様性条約などのコンプライアンスに関する知識や、研究倫理などについて実務経験を交えながら指導する。 藤原 雄介/長崎大学における知的財産管理業務に関する実務経験実務経験/知的財産法や著作権法などの法律について説明する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(4月10日)	第1回目は本授業についての「オリエンテーション」をおこなう。 本授業の構成や目的、達成目標などについて説明する。
第2回(4月17日)	第2回目は「研究不正と統計学の関わり」の講義をおこなう。 特定不正行為（改ざん、ねつ造、盗用）と疑わしい研究活動の概要を示し、それに統計学がどのように関わるか説明する。
第3回(4月17日)	第3回目は「研究不正にならないための研究データの取扱い」の講義をおこなう。 データの収集方法・取り扱い方法、物事の関連の表し方（検定）、相関関係と因果関係の違いを説明する。
第4回(4月24日)	第4回目は「安全保障輸出管理に関する世界の動向」の講義をおこなう。 安全保障に関する各国の情勢や、安全保障輸出管理の重要性・必要性などについて講義する。
第5回(4月24日)	第5回目は「研究活動と安全保障輸出管理」の講義をおこなう。 大学での様々な活動と安全保障輸出管理の関わり、規制されている貨物や技術に関する説明など、実務的に必要な手続きなどについて説明する。
第6回(5月8日)	第6回目は「生物多様性とは」の講義をおこなう。 生物多様性条約が制定された経緯や、生物資源の持続可能性などについて講義する。
第7回(5月8日)	第7回目は「研究活動と名古屋議定書対応」の講義をおこなう。 2011年に制定された名古屋議定書について海外の遺伝資源の取り扱い等について説明し、研究活動で必要となる手続きや注意点等について説明する。
第8回(5月15日)	第8回目は「知っておいて欲しい知的財産のルール?①（著作権）」の講義をおこなう。 学生がレポート作成時等知っておいて欲しい著作権のルールを簡潔に講義する。
第9回(5月15日)	第9回目は「知っておいて欲しい知的財産のルール?A（特許権他）」の講義をおこなう。 学生が研究開始前に知っとして欲しい知的財産の基礎を簡潔に講義する。
第10回(5月22日)	第10回目は「研究公正とは何か」の講義をおこなう。 研究倫理・研究公正の基本的概念と、特定不正行為（捏造・改ざん・盗用）の定義とルールについて理解する。また、具体的な研究不正事例等の解説に加え、公正な研究活動を実現する上での様々な問題について学ぶ。
第11回(5月22日)	第11回目は「研究者の倫理と科学の信頼性」の講義をおこなう。 特定不正行為を含む様々な研究公正上の問題の構造について考える。また、研究不正やデータ管理に関わる様々な問題を例示し、科学の信頼性を研究者はどの様に理解し、担保すべきか、議論を行う。
第12回(5月29日)	第12回目は「研究倫理に関するグループワーク?②」をおこなう。 授業参加者をいくつかのグループに分け、各グループに研究倫理に関するテーマを設定し、テーマ説明や研究不正防止対策などについて学んだ知識を使って考え議論する。
第13回(5月29日)	第13回目は引き続き「研究倫理に関するグループワーク?A」をおこなう。
第14回(6月5日)	第14回目は「グループワーク発表」をおこなう。 前回おこなった各グループワークの成果等について発表する。
第15回(6月5日)	第15回目は「授業の総括」をおこなう。 本授業で学んだことの振り返りとして総括をおこなう。そして今後の大学での活動や社会人になっからの活動等にどう役立てるか等について講義する。

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588024801	科目番号 / Course code	05880248
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15961_001		
授業科目名 / Course title	キャリア交流 / Group Work with Company Members		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu, 矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu, 矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	all department student		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ishi naagsaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	Center of community		
担当教員TEL/Tel	095-819-2107		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Thursday afternoon.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Students can study the meanings to work in the company via the group work with other students and people from companies. Students can obtain the skill to communicate with other members in the group. Students can understand the situations of the companies based on the global vision.		
授業到達目標/Course goals	Students can study the meanings to work in the company via the group work with other students and people from companies. Students can obtain the skill to communicate with other members in the group. Students can understand the situations of the companies based on the global vision.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Students are requested to submit report papers at every lecture. Grading is achieved by the report submitted.		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	Group work, Communication skill, Company, Community		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 。アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	You can improve your skill to communicate with others by the group work in the class. Also you can enlarge your human network with many students and also people form company.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
Oct.2nd	5: Orientation 6: Self introduction
Oct.9th	5: Lecture by company leaders 6: Group work with students and company members (topic is specified)
Oct.16th	5: Lecture by company leaders 6: Group work with students and company members (topic is specified)
Oct. 17th	5: Lecture by company leaders 6: Group work with students and company members (topic is specified)
Oct.24th	5: Lecture by company leaders 6: Group work with students and company members (topic is specified)
Nov. 3rd	5: Lecture by company leaders 6: Group work with students and company members (topic is specified)
Nov.10th	5: Lecture by company leaders 6: Group work with students and company members (topic is specified)
Nov.17th	5: Students presentation based on the specified theme.

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588024801	科目番号 / Course code	05880248
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15961_001		
授業科目名 / Course title	キャリア交流 / Group Work with Company Members		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu, 矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu, 矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	地方創生推進本部及びキャリア支援センター		
担当教員TEL/Tel	0 9 5 7 8 1 9 2 1 0 7		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週木曜日の5校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	企業で働く人々と、他学部の学生とのグループワークを通じて、自己の意思を表現するためのコミュニケーション力を育てる。 様々な業界の企業人との交流を通じて、働くことの意義や働くひとびとの生活の状況を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	各分野の企業で働く企業人との対話を通じて、社会で働くことの意義や大切さを学ぶことができる。 将来に社会で働くために学生時代に、何をすべきかを考えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の講義の終了後に、レポートを提出する。提出されたレポートで80点、および学生による発表会の様子を教員が評価した結果を20点として、評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	企業、グループ討論、コミュニケーション、		
教科書・教材・参考書/Materials	特になし。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	なし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	学生時代に有意義な、多くの社会人、他学部の学生との人的ネットワークが築かれます。 多くのひとびとの前でのプレゼンテーション能力がアップします。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	6回の講義に、長崎県内を中心とする企業リーダー予定。ファシリテータとして、報道関係者が特別講師として、講義に参加します。 また企業のリーダーが講演を行います。さらに、グループワークにも参加します。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月2日	5校時：講義のオリエンテーション 6校時：学生による発表会（自己紹介及び事前に指定された課題について）
第2回 10月9日	5校時：複数の企業リーダーによる講演 6校時：企業リーダと学生とでグループ討論（事前課題が与えられます）
第3回 10月16日	5校時：複数の企業リーダーによる講演 6校時：企業リーダと学生とでグループ討論（事前課題が与えられます）
第4回 10月23日	5校時：複数の企業リーダーによる講演 6校時：企業リーダと学生とでグループ討論（事前課題が与えられます）
第5回 10月30日	5校時：複数の企業リーダーによる講演 6校時：企業リーダと学生とでグループ討論（事前課題が与えられます）
第6回 11月6日	5校時：複数の企業リーダーによる講演 6校時：企業リーダと学生とでグループ討論（事前課題が与えられます）
第7回 11月13日	5校時：複数の企業リーダーによる講演 6校時：企業リーダと学生とでグループ討論（事前課題が与えられます）
第8回 11月20日	5校時：学生による発表会（事前に指定された課題について）

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588024901	科目番号 / Course code	05880249
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15971_006		
授業科目名 / Course title	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 / Special Activities		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤井 佑介 / Yusuke Fujii, 井手 弘人 / Ide Hiroto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤井 佑介 / Yusuke Fujii		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤井 佑介 / Yusuke Fujii, 井手 弘人 / Ide Hiroto		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	中学校・高等学校の教育課程における特別活動の位置づけとその役割、および目標・内容等について理解するとともに、学級活動の具体的な指導方法を理解する。また、特別活動の各内容に関してジグソー学習を行い、総合的な学習の時間に関しては課題設定に沿った模擬授業を展開する。		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育課程における特別活動の意義と役割を理解できる。 2. 特別活動の目標およびその内容を理解できる。 3. 特別活動の具体的な活動場面とそのねらいを理解できる。 4. 教育課程における総合的な学習の時間の意義と役割を理解できる。 5. 総合的な学習の時間の目標およびその内容を理解できる。 6. 総合的な学習の時間の具体的な活動場面とそのねらいを理解し、かつ表現できる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	発表40%、最終レポート60%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	生徒会活動、学級活動、学校行事、合科的指導、探究、学習指導要領		
教科書・教材・参考書 / Materials	『中学校学習指導要領解説 総則編』文部科学省 『高等学校学習指導要領解説 総則編』文部科学省 『中学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省 『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省 『中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編』文部科学省 『高等学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編』文部科学省 『特別活動エッセンス?望ましい人間関係づくりのために』(花書院) 必要に応じて資料を用意する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	特別活動（7コマ）を藤井、総合的な学習の時間（8コマ）を井手が担当します。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション・特別活動とは？
第2回	特別活動の目標と内容構成と教育的意義
第3回	特別活動の指導原理とガイダンス機能
第4回	特別活動の内容の探求?②（生徒会活動）
第5回	特別活動の内容の探求?A（学級活動）
第6回	特別活動の内容の探求?B（学校行事）
第7回	ジグソー学習によるグループ報告と特別活動のまとめ
第8回	学習指導要領「総則」における総合的な学習の時間の位置づけ
第9回	総合的な学習の時間の目標及び内容構成と評価
第10回	総合的な学習の時間の理論（intergated curriculumモデルから）
第11回	総合的な学習の時間の方法?②（合科的指導）
第12回	総合的な学習の時間の方法?A（探究課題の設定と過程での思考スキルデザイン）
第13回	模擬授業?②（総合的な学習の時間の実践と授業検討会）
第14回	模擬授業?A（学校種間を接続する総合的な学習の時間の実践と授業検討会）
第15回	総括

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2019/04/01 ~ 2019/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588025001	科目番号 / Course code	05880250
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15981_004		
授業科目名 / Course title	特別な支援を必要とする子どもの理解		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 田中 悟郎 / Tanaka Gorou, 今村 明 / Imamura Akira, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyoutirou, 鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke, 友永 光幸 / Tomonaga Mitsuyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 ゆり / Yuri Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 田中 悟郎 / Tanaka Gorou, 今村 明 / Imamura Akira, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyoutirou, 鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke, 友永 光幸 / Tomonaga Mitsuyuki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年生以上		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	(代表) 吉田ゆり yuyoshida_nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	(代表) 吉田ゆり 教育学部220研究室		
担当教員TEL / Tel	(代表) 吉田ゆり 095-819-2394		
担当教員オフィスアワー / Office hours	吉田: 月曜日12:00?12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	特別支援教育の対象である視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱のみならず、発達障害や軽度知的障害、虐待・マルトリートメントや貧困、外国籍等により特別の支援を必要とする幼児・児童及び生徒の発達及び特性、教育的ニーズを把握し、教育課程・支援方法について理解するとともに、関係機関や保護者との連携のあり方を含めて概括する。		
授業到達目標 / Course goals	特別な支援を必要とする幼児・児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解し、その教育課程や支援の方法を理解することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	各回の振り返り用紙(50%)と最終レポート(50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習として、自らの障害観、子ども観について考える時間を持ってほしい。 事後学習としては、子どもの育ちを自分の問題としてとらえるとともに、市民として、あるいは支援者として何をすべきかを考える時間を持ってほしい。		
キーワード / Keywords	発達障害 インクルーシブ教育 特別支援教育 教育的ニーズ		
教科書・教材・参考書 / Materials	適宜指示する (現在教科書を作成中である。出版で次第連絡する)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	特になし。 なお、教養教育自由科目の教職科目に位置付けられているが、本科目については全学部 (教育学部を含む) が受講可能である。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	教員免許取得希望者のみならず、ひろく履修してほしい。 本科目は、長崎大学子どもの心の医療・教育センターが、特別な支援を必要とする子どもの育ちとその支援について、医学・教育の両面から、『医教連携』をコンセプトに全学部が共修できるよう構成しています。大学病院、医学部保健学科、教育学部の教員がそれぞれの専門性をもって授業を行う、全国でも珍しい授業になっています。積極的な受講を望みます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	担当者全員が、医学 (医師としての実務)、リハビリテーション (作業療法士としての実務)、教育 (教員としての実務)、心理臨床 (公認心理師・臨床心理士等) として、特別な支援を必要とする子どもとその保護者の支援にかかわる実務経験を持っています。 ここでは代表教員のみを記載します。 吉田ゆり?@病院 (児童精神科、小児神経科外来) の臨床心理士として医師の指示の元、発達・知能検査他検査や観察など診察補助及び個別面接 (経過観察) を担当。また、療育手帳発行のための資料作成を行った。?A児童発達支援事業所における専門スタッフ (臨床心理士) として保護者の相談と療育への助言指導を実施?B公立中学校特別支援学級に指導補助員として勤務?C公立小学校・中学校特別支援学級に言語指導員 (ST) として勤務?Dスクールカウンセラーとして小学校及び中学校に勤務?E附属学校園の特別支援教育コーディネーター連絡会における顧問として指導助言を行う?F発達障害の可能性のある幼児・児童・生徒の相談及び個別支援、及び学校の特別支援教育体制構築への指導助言を担当 (長崎大学附属学校園) (
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション/発達障害支援の動向 (吉田ゆり / 子どもの心の医療・教育センター / 教育学部)
第2回	インクルーシブ教育システムと特別支援教育の展開と制度 インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みの理解 (石川衣紀 / 教育学部)
第3回	障害のある幼児・児童・生徒の学習と生活 (1) 病弱・知的障害の子どもを中心に 知的障害・病弱等の子どもの学習及び生活上の困難 (高橋甲介 / 教育学部)
第4回	障害のある幼児・児童・生徒の学習と生活 (2) 肢体不自由・視覚・聴覚障害を中心に 視覚障害・聴覚障害・肢体不自由の子どもの学習及び生活上の困難 (鈴木保巳 / 教育学部)
第5回	特別支援教育の教育課程と個別の支援計画の作成・活用 特別支援教育の教育課程、個別の支援計画 (教育学部 / 友永光幸)
第6回	発達障害のある幼児・児童・生徒の発達の特性 (1) 自閉スペクトラム症を中心に 発達障害や軽度知的障害の子どもの発達と心理的特性、学習の過程 (自閉スペクトラム症を中心に) (岩永竜一郎 / 保健学科)
第7回	発達障害のある幼児・児童・生徒の発達の特性 (3) LD等を中心に 発達障害や軽度知的障害の子どもの発達と心理的特性、学習の過程 (LD・発達性協調運動障害等を 中心に) (岩永竜一郎 / 保健学科)
第8回	発達障害のある幼児・児童・生徒の発達の特性 (2) ADHDを中心に 発達障害や軽度知的障害の子どもの発達と心理的特性、学習の過程 (ADHDを中心に) (今村明 / 大学病院)
第9回	障害のある子どもの地域支援 (1) 保護者支援 学校における保護者支援、ペアレントトレーニングなど (徳永瑛子 / 保健学科 / 子どもの心の医療・教育センター)
第10回	障害のある子どもの地域支援 (2) 学校と関係機関との連携 特別支援教育コーディネーター、関係機関や家庭との連携による支援体制の構築 (徳永瑛子 / 保健学科 / 子どもの心の医療・教育センター)
第11回	発達障害のある幼児・児童・生徒の教育的支援 (1) 通常学級・通級による指導における発達障害や軽度知的障害の子どもの支援の方法 (吉田ゆり / 教育学部 / 子どもの心の医療・教育センター)
第12. 回	発達障害のある児童・生徒の教育的支援 (2) 特別支援学級と「自立活動」の教育課程上の位置づけの理解 (高橋甲介 / 教育学部 / 子どもの心の医療・教育センター)
第13回	教育的ニーズのある多様な子どもの理解と支援 (2) 精神疾患の子どもと保護者の支援、リハビリテーション教 (田中悟郎 / 保健学科 / 子どもの心の医療・教育センター)

第14回	教育的ニーズのある多様な子どもの理解と支援（1） 母国語や貧困、愛着障害の問題による子どもの生活上の困難や組織的対応の必要性 （吉田ゆり/教育学部/子どもの心の医療・教育センター）
第15回	まとめ（学部横断グループ構成でのディスカッションとプレゼンテーション）（吉田）

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/07/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588025401	科目番号 / Course code	05880254
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16011_002		
授業科目名 / Course title	現代社会を生きる / Study of Contemporary Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15, 教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	持続可能な社会を作る上において、「主体的に社会の形成に参画しようとする態度」が必要であり、 そのためには、公職選挙法等一部の改正、民法の改正など現代社会でどのような変化があるか、 今どんな問題が自分らの前にあるかを考え生活していく必要がある。 この講義では、主権者教育、租税教育、消費者教育の観点での知識を習得し、主権者意識、 消費者意識を高め、他者と連携・協働しながら、主体的に社会の形成に関わる思考・態度を身につ ける。		
授業到達目標/Course goals	主体的に社会の形成に関わる思考・態度を身につける。 地域社会に貢献できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題提出による累積した点数およびグループワークを通じたプレゼン内容により評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	LACSにおいて、事前・事後の授業資料を提示するため授業外に活用すること		
キーワード/Keywords	主権者教育、租税教育、消費者教育		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	長崎県選挙管理委員会、北部九州税理士会、長崎県消費者センターの各専門分野の外部講師による ものである。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 - 2 回	主権者教育
3 - 6 回	租税教育 (我が国の租税の構造, 租税法の基本原則など)
7 -14回	消費者教育 (賃貸トラブル、訪問販売、情報サイトのトラブル、キャッチセール等の事例とその対 処について) など、消費者市民社会の構築にむけ考える。
まとめ	まとめ

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190588025501	科目番号 / Course code	05880255
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16021_002		
授業科目名 / Course title	現代アジア社会の諸問題 政治経済・宗教・文化を中心に / Issues in Contemporary Asian Societies: Political Economy, Religion, and Culture		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	伍 嘉誠, NURGALIYEVA LYAILYA		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	伍 嘉誠		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	伍 嘉誠, NURGALIYEVA LYAILYA		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ngkashing nagasaki-u.ac.jp lyailya.nurgaliyeva nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総合研究教育棟5階助教室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時対応しますが、事前にメールで連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	グローバル化が進む中、アジア諸国に経済的な豊かさがもたらされている一方、急速な現代化に伴う環境破壊や経済成長による国内地域間格差拡大が深刻化している。地域間の経済的・政治的競争が激しくなるにつれ、自らの「文化」や「権利」を保護しようとするナショナリズムの動きが急進化している。例えば、中国大陸からの政治・経済的支配へ反発し、香港では「雨傘運動」、台湾では「ひまわり学生運動」が起こっている。日本では、憲法改正草案をめぐる一連の動き等「右傾化」と思われる傾向が見られる。ロシアと中国との戦略的競争の中、カザフスタン等の中央アジア諸国は中露からの影響力を均衡させようとしている。また、中国主導の経済圏構想「一帯一路」は沿線のアジア諸国にどのような影響を及ぼすのか。本講義は、政治経済・宗教・文化の視点から、様々な事例を取り上げ、現代アジア社会の現状と課題を探ることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	現代アジア社会の諸問題を理解できるようになる。 社会学、国際関係論、政治学、宗教学等の基礎知識を身につけるようになる。 現代アジア社会における諸問題を批判的に、かつ国際比較的な視点から考えられるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業中の積極性 : 10% 授業アンケート : 40% 最終レポート : 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	現代アジア社会、政治経済、文化、宗教		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業中に適宜指示します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	政治経済・宗教・文化の視点から、様々な事例を取り上げ、現代アジア社会の現状と課題を一緒に考えましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクションー変動するアジア社会
2	現代中国社会の諸問題
3	香港・台湾に見る「中国大陸化」への抵抗? 「雨傘運動」と「太陽花運動」を中心に
4	中国人の「靈魂」? 共産政権下の宗教と信仰の諸相
5	外国人労働者問題を考える? 香港に出稼ぎにくる家政婦を事例に
6	日本の「右傾化」
7	オリエンタリズム再考
8	前半のまとめ 後半のイントロダクション? 国際政治経済学とは何か?
9	アジア地域における環境問題
10	環境問題の解決方法
11	貧困問題
12	アジアにおける日本の開発援助
13	国際貿易
14	アジア地域経済統合（1）
15	アジア地域経済統合（2）

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/07/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190590090501	科目番号 / Course code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11261_001		
授業科目名 / Course title	平和講座 / On the Peace		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 富塚 明 / Tomiduka Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 富塚 明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Course Category	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部 1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部 4階環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜午後4時から5時、在室ならいつでも可		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身 勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、そ の多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚」し、国家再 建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼 して安全と生存を保持しよう」と決意した。」1983年に始まった本講座は、その決意を受け継ぎ、平 和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎 的資料と基本的な分析理論を提供しゆとするものである。		
授業到達目標/Course goals	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して 自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート100%。出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極 性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業期間中の任意の日時に、岡まさはる記念長崎平和資料館(月曜休館、JR長崎駅前のNHK横の 坂をのぼり、カトリック26聖人記念館のすぐ先)を訪問してください。そのレポートを提出すれば 加点します。なお長崎原爆資料館のレポートも加点になります。		
キーワード/Keywords	戦争、暴力、平和、格差、原爆、原発、枯葉剤、劣化ウラン、有事体制、イラク戦争、構造的暴力 、死刑、テロ、集団的自衛権		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は戸田清『なぜ戦争が起こるか』仮題、近刊。プリント資料を適宜配布し、またスライド、 DVD、ビデオなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立てる。参考書は高橋、舟越編『ナガ サキから平和学する』法律文化社2009年など。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	受講要件は特にない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	http://todakiyosi.web.fc2.com/
学生へのメッセージ/Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争、暴力、平和をめぐる世界と日本の動向に関心をもってほしい。IS邦人質事件などにも関心。原爆資料館だけでなく、岡まさはる記念長崎平和資料館も訪れてほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	山川 剛/長崎平和推進協会、長崎の証言の会をとおして1998年からの被爆体験の語り手としての実務経験を有している。/担当予定教員は、8歳で被爆し、長崎市平和推進協議会、長崎証言の会、長崎被爆教職員会の会の会員として、活水高校での長崎平和学の担当、被爆体験講和等を行い、長崎の被爆の語り部として勤めてきた実務経験を活かし、学生に長崎の歴史を伝える授業を実施する。/ 西岡 由香/日本の漫画家。長崎県長崎市出身。「さらん」のペンネームも持つ。1999年に平和団体ピースポート主催による地球一周クルーズへの参加をきっかけに、平和をテーマにした漫画を数多く執筆した経験を有している。/著名な漫画家で郷土史（キリスト教関係など）と長崎原爆に詳しく、ピースポートでのパレスチナ訪問など海外経験などの実務経験を活かした内容（「世界から見たナガサキ」「原爆とキリスト教」を演題）で授業を実施する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 6月12日5限	戸田 日本軍七三一部隊
2 6月12日6限	戸田 ナチスドイツのT4作戦
3 6月19日5限	国武雅子 戦争と性暴力
4 6月19日6限	国武 日本軍「慰安婦」問題
5 6月26日5限	国武 戦争と国民生活の統制
6 6月26日6限	国武 女性参政権運動と戦争協力
7 7月3日5限	山川剛 長崎原爆とその後
8 7月3日6限	戸田 死刑制度について、劣化ウラン弾について
9 7月10日5限	山崎年子 二重被爆の父と生きる
10 7月10日6限	休講
11 7月17日5限	西岡由香 世界から見たナガサキ 90分間世界一周
12 7月17日6限	西岡 いのちを守るまちづくり
13 7月24日5限	篠崎正人 有事体制と長崎・佐世保1
14 7月24日6限	篠崎 有事体制と長崎・佐世保2
15 7月31日5限	富塚明 原発と核燃料サイクル
16 7月31日6限	富塚 核兵器廃絶運動、原爆症認定裁判 なお定期試験はありません

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190590090502	科目番号 / Course code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11261_001		
授業科目名 / Course title	平和講座 / On the Peace		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 関口 達夫 / Sekiguchi Tatsuo, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 富塚 明 / Tomiduka Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 関口 達夫 / Sekiguchi Tatsuo, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 富塚 明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Course Category	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部 1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部 4階環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜午後4時から5時。在室ならいつでも可。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身 勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、 その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し」、国家 再建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信 頼して安全と生存を保持しよう」と決意した。」1983年に始まった本講座は、その決意を受け継ぎ、 平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基 礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標/Course goals	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して 自由と平等と平和を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート100%。出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極 性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業期間中の任意の日時に、岡まさはる記念長崎平和資料館(月曜休館、JR長崎駅前のNHK横の 坂をのぼり、カトリック26聖人記念館のすぐ先)を訪問してください。そのレポートを提出すれば 加点します。なお長崎原爆資料館のレポートも加点になります。		
キーワード/Keywords	戦争、暴力、平和、格差、原爆、原発、枯葉剤、劣化ウラン、有事体制、イラク戦争、構造的暴力 、死刑、集団的自衛権、テロ		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は戸田清『なぜ戦争が起こるか』仮題、近刊。プリント資料を適宜配布し、またスライド、 ビデオ、DVDなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立てる。参考書は高橋・舟越編『ナガ サキから平和学する』法律文化社2009年、など。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	受講要件は特にない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	http://todakiyosi.web.fc2.com/
学生へのメッセージ/Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争、暴力、平和をめぐる世界と日本の動向に関心をもってほしい。ISの人質事件などにも関心をもってほしい。長崎原爆資料館だけでなく、岡まさはる記念長崎平和資料館も訪れてほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 10月2日5限	戸田清 日本軍七三一部隊
2 10月2日6限	戸田 ナチスドイツのT4作戦
3 10月9日5限	富塚明 原発と核燃料サイクル
4 10月9日6限	戸田 死刑制度について
5 10月16日5限	国武雅子 戦争と性暴力
6 10月16日6限	国武 日本軍「慰安婦」問題
7 10月23日5限	国武 戦争と国民生活の統制
8 10月23日6限	国武 女性参政権運動と戦争協力
9 10月30日5限	川副忠子 長崎原爆と平和教育、核兵器廃絶運動
10 10月30日6限	戸田 沖縄の枯れ葉剤、劣化ウラン弾について
11 11月6日5限	山崎年子 二重被爆の父と生きる
12 11月6日6限	富塚明 核兵器廃絶運動、原爆症認定裁判
13 11月13日5限	富塚 日米関係を考える
14 11月13日6限	関口 長崎原爆を報道する
15 11月20日5限	関口 長崎原爆を報道する 集団的自衛権
16 11月20日6限	休講 定期試験は行いません。